地域文化伝承館

わが街、かがやく街、やさしい街、
また来たくなる街、わかやま

地域文化伝承館

第32回全国健康福祉祭和歌山大会 ねんりんピック紀の国わかやま2019 地域文化伝承館 報告書




























# 地域文化伝承館

## 報告書

第32回全国健康福祉祭和歌山大会

## ねんりんピック紀の国わかやま2019

あふれる情熱 はじける笑顔

期間 ／令和元年 11 月 9 日 (土)～11 日 (月)
会場 ／和歌山ビッグホエール
主催 ／厚生労働省・和歌山県・一般財団法人長寿社会開発センター
ねんりんピック紀の国わかやま 2019 実行委員会
共催 ／スポーツ庁
主管 ／公益財団法人全国老人クラブ連合会
一般財団法人和歌山県老人クラブ連合会

第32回全国健康福祉祭和歌山大会

# ねんりんピック紀の国わかやま2019

あふれる情熱 はじける笑顔




大会マスコット　**きいちゃん**

紀州犬をモチーフにした元気いっぱいのマスコットです。
体の緑色のマークは、和歌山の頭文字Wと豊かな緑を表現しています。
生まれ育った和歌山の自然とスポーツが大好き。
いろんな事にチャレンジして、たくさんの人と友だちになりたいと
思っています。
「ねんりんピック紀の国わかやま2019」も、元気に応援します!

## もくじ


**ごあいさつ** …… 02

公益財団法人全国老人クラブ連合会　会長　清家　篤
一般財団法人和歌山県老人クラブ連合会　会長　赤阪 修一

**開催概要** …… 04

開催要領
出展者・出演者等の状況、記念品等
広報制作物・ユニフォーム
設営物
開催施設の概要
事業経過

**ハイライトアルバム** …… 12

開館式
開催準備（会議・記念品製作）
会場風景（運営スタッフ）
会場風景（ふるまいコーナー）
出展
出演
閉館式

**出展コーナー** …… 20

出展団体一覧
出展ブース
出展スタッフ

**出演コーナー** …… 36

出演団体一覧
オープニングアクト
ステージ（11月9日・10日・11日）
舞台裏コーナー（練習風景・直前控室・会場風景）

**アンケート** …… 62

**運営組織** …… 65

組織図
実施本部
運営スタッフ

## ごあいさつ

公益財団法人 全国老人クラブ連合会
会長 清家 篤



全国健康福祉祭（ねんりんピック）は、厚生省50周年記念事業として、昭和63年に兵庫県・神戸市で第1回大会が開催されました。

老人クラブが企画・運営する「地域文化伝承館」は、岩手県で開催された第4回大会から開設され、今大会で第29回となります。高齢者の知恵と経験、技術を活かして取り組んでいる伝承活動や健康・生きがいづくり活動を紹介する場として定着し、ねんりんピックの文化イベントの中でも、多くの来場者を集める人気の催しとなりました。

第32回全国健康福祉祭和歌山大会（ねんりんピック紀の国わかやま2019）では、「あふれる情熱はじける笑顔」をテーマに、“「健康長寿」の喜びを共に分かち合う”“スポーツや文化活動の「楽しさ」を味わう”“地域や世代を超えた「絆」を結ぶ”“「和歌山に来て良かった」と思ってもらえる”大会を目指して開催されました。

地域文化伝承館においては、昨年のとやま大会のねんりんパワーを継承し、全国から来場された皆様に和歌山の文化と高齢者の元気な姿を示そうと、関係者が一丸となって準備を進めてこられました。文化イベントのメイン会場となった「和歌山ビッグホエール」に特設された出展ブースとステージでは、県内各地の会員の皆様が意欲と熱気にあふれる多彩な活動を披露され、同世代や他世代との交流をとおして、老人クラブの活動に対する理解を深めることができました。また、会員スタッフの心を込めたおもてなしが、来場された方々の笑顔につながったものと思います。

期間中、多数の来賓をお迎えし、連日多くの来場者で賑わったことは、長きにわたる準備と運営に携われた皆様にとって、大きな喜びであったことと存じます。

最後に、和歌山県老人クラブ連合会の役職員、会員各位のご尽力に心から感謝申し上げますとともに、開設にあたり多大なご支援・ご協力を賜りました和歌山県の関係者の皆様に厚く御礼を申し上げ、ご挨拶といたします。



## ごあいさつ

一般財団法人 和歌山県老人クラブ連合会
会長 赤阪 修一



第32回全国健康福祉祭和歌山大会（ねんりんピック紀の国わかやま2019）が「あふれる情熱 はじける笑顔」をテーマに11月9日（土）から12日（火）までの4日間の日程で県内各地において開催されました。

和歌山県老人クラブ連合会では、全国老人クラブ連合会との共同主管により、11月9日（土）から11日（月）までの3日間「わが街、かがやく街、やさしい街、また来たくなる街、わかやま」をコンセプトワードとし、県内外から多数の来賓、来館者をお迎えして「地域文化伝承館」を開催いたしました。

オープニングアクトとして500年余りの歴史を持つ和歌山県無形民俗文化財である和歌山市の「木ノ本の獅子舞」が演じられ、迫力ある演技に会場は大いに盛り上がりました。

出演のステージでは、18市町村から23団体の老人クラブ会員等による郷土・伝統芸能や民謡、コーラス、踊り、ダンス等、日頃取り組んでいる様々な活動の成果が次々と披露され、本県の老人クラブ会員の元気な姿を県内外の方々に伝えることができ、出演を通して地域文化伝承館の大きな目的である世代間交流、地域文化の交流を図ることができました。

また、出展ブースでは、11市町から14団体が参加し、地域に根差した伝統ある地域文化の品々の展示や実演・体験を通じて来館者と老人クラブ会員との温かい交流が図られるなど、連日、各ブースとも大いに賑わいました。

今回の開催では、県老連女性部会員が取り組んだ来館者への記念品として配布する「真田紐ストラップ」づくりや“おもてなし”としての「はたごんぼ茶」のふるまい、さらに運営スタッフの各分野での積極的な活躍など老人クラブ会員が「ONE TEAM（ワンチーム）」となって地域文化伝承館の運営に取り組むことができました。

地域文化伝承館で得た知識や経験、技能をこれからの老人クラブ活動の活性化につなげていき、高齢者が生涯活躍できる地域社会の実現に向けて一層努めて参ります。

最後に、この大会が多大な成果を収めて成功裡に終えることができましたのも関係機関の多くの方々からのご支援、ご協力の賜と心より感謝申し上げ、ご挨拶といたします。

## 開催概要

第32回 全国健康福祉祭和歌山大会（ねんりんピック紀の国わかやま2019）

### 「地域文化伝承館」開催要領

| | |
|---|---|
| 趣旨 | 高齢者が長年培ってきた豊かな経験・知識・技術を生かして取り組んでいる様々な地域文化・生活文化の伝承活動をその実演・展示を通して披露し、各世代間との交流を図る。<br>また、地域に伝わる民俗芸能・郷土芸能や老人クラブ等が日頃取り組んでいる多彩な健康・生きがい活動を紹介・発表して、老人クラブをはじめとする高齢者の組織や活動への理解を高め、その推進に努める。 |
| 主催 | 厚生労働省　和歌山県　一般財団法人長寿社会開発センター<br>ねんりんピック紀の国わかやま 2019 実行委員会 |
| 共催 | スポーツ庁 |
| 主管 | 公益財団法人全国老人クラブ連合会<br>一般財団法人和歌山県老人クラブ連合会 |
| 期間 | 令和元年１１月９日（土）～１１日（月）　３日間<br>午前１０時～午後５時（１１日は午後４時まで） |
| 会場 | 和歌山ビッグホエール（和歌山市手平二丁目１番１号） |
| 内容 | 県内の市町村老人クラブによる展示・実演・体験交流・発表<br>（１）地域文化・生活文化の伝承活動<br>（２）地域に伝わる民俗芸能・郷土芸能の伝承活動<br>（３）創意・工夫を生かして取り組んでいる健康・生きがいづくりの活動 |
| 参加対象者 | （１）各都道府県・政令指定都市から交流活動を目的に派遣された者<br>（２）自由参加者 |
| 参加費 | 無料 |



## 出展者・出演者等の状況、記念品等

### ■ 出展者・出演者等の状況

| 区分 | | 11月9日(土) | 11月10日(日) | 11月11日(月) | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 来館者（会場全体入場者） | | 101,550人 | 124,370人 | 47,418人 | 273,338人 |
| 出展団体 | | 14団体 | 14団体 | 14団体 | |
| 出展者 | | 52人 | 56人 | 52人 | 延べ160人 |
| 出演団体 | | 6団体 | 9団体 | 8団体 | 23団体 |
| 出演者 | | 110人 | 148人 | 120人 | 378人 |
| 運営スタッフ | | 30人 | 30人 | 31人 | 延べ91人 |
| アンケート | | 867枚 | 1,433枚 | 560枚 | 2,860枚 |
| 来館者配布資料<br>機関紙「和老連ときめき」<br>プログラム・アンケート用紙<br>老人クラブ入会申込書 | | 1,050枚 | 2,200枚 | 967枚 | 4,217枚 |
| 来館者記念品 | 真田紐ストラップ | 1,500個 | 1,300個 | 330個 | 3,130個 |
| | ボールペン | 867本 | 172本 | 401本 | 1,440本 |
| ふるまいコーナー（はたごんぼ茶） | カップ | 1,400個 | 1,220個 | 884個 | 3,504個 |
| | 天然水 | 70L | 100L | 50L | 220L |

### ■ 記念品等




和歌山県内の老人クラブ女性会員が製作した「真田紐ストラップ」を来館者の記念品として配布しました。また、アンケート回答者にも「真田紐ストラップ」と「ボールペン」を配布しました。






# 広報制作物・ユニフォーム

## ■ 告知用チラシ（2019年1月制作、A4両面）





## ■ 告知用チラシ（2019年9月制作、A4両面）





## ■ パンフレット（2019年10月制作、A3両面）





## ■ 告知用ポスター（2019年1月制作、B2）



## ■ 告知用ポスター（2019年9月制作、B2）



## ■ ビニール、紙バッグ





## ■ クリアファイル



## ■ 子どもきいちゃんパネル



## ■ のぼり W450×H1,800



## ■ スタッフジャンバー



## ■ スタッフエプロン

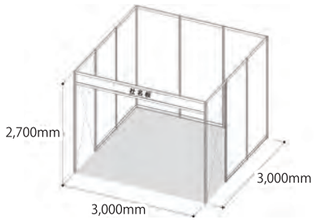


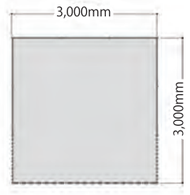
## 設営物


会場　和歌山ビッグホエール

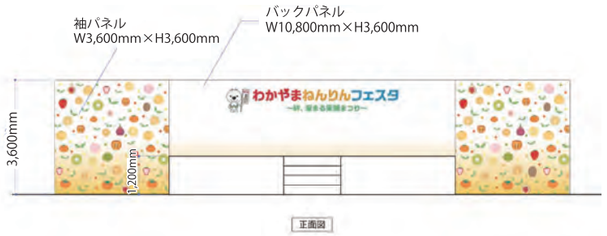

会場全体

### ■出展ブース



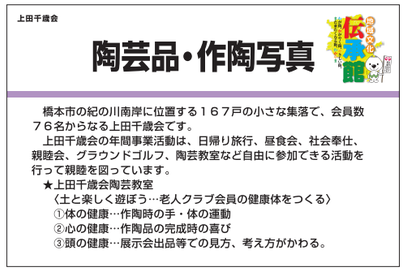

### ■ステージ




### ■ブースサイン　W1200×H300




### ■ブース紹介サイン　W900×H600




### ■立看板




### ■ターポリン




### ■スーテジブロックサイン ×2




### ■コーナーパネル

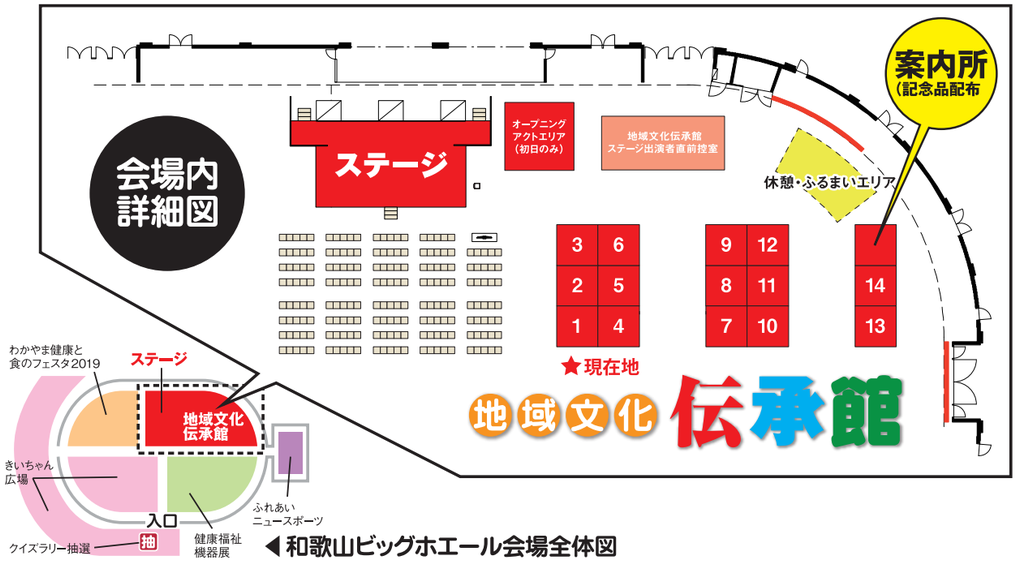



### ■めくり看板




## 開催施設の概要

### 会場エリア図



◀和歌山ビッグホエール会場全体図

### ■出展団体一覧（ブース）

| ブース番号 | 市町村 | 団体名 | 展示名 | 展示・実演・体験 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 岩出市 | 岩出市水墨画クラブ | 水墨画 | 展示 |
| 2 | 橋本市 | フォトクラブ光彩 | 写真 | 展示 |
| 3 | 九度山町 | 九度山町老人クラブ連合会 | 真田紐作品（ストラップ、おひなさま） | 展示・実演・体験 |
| 4 | 上富田町 | 上富田町老人クラブ連合会女性部 | つるで籠を編む | 展示・実演 |
| 5 | 田辺市 | 秋津川炭琴サークル（紀州備長炭記念公園） | 紀州備長炭の炭琴・風鈴・オブジェ | 展示・体験 |
| 6 | みなべ町 | みなべ町長寿クラブ連合会 | 梅染め・梅干しマラカス・墨絵 | 展示・実演・体験 |
| 7 | 橋本市 | 上田千歳会 | 陶芸品・作陶写真 | 展示 |
| 8 | 上富田町 | 岡老人クラブ | ひょうたん | 展示 |
| 9 | 美浜町 | 美浜町老人クラブ連合会女性部 | 歴史を語る煙樹ケ浜「松林」と「まつりん人形」 | 展示・実演 |
| 10 | 広川町 | 南金屋クラブ | すすきのほうき・黒竹工芸品・陶芸品 | 展示・実演・体験 |
| 11 | 有田川町 | 体験交流工房わらし | 紀州手漉き和紙「保田紙」の製品・藁加工品 | 展示・実演・体験 |
| 12 | 紀美野町 | 紀美野町老人クラブ連合会 | 藁の亀と手芸品 | 展示 |
| 13 | 御坊市 | 御坊市老人クラブ連合会女性部 | 紀州てまり | 展示・実演 |
| 14 | 御坊市 | 御坊市老人クラブ連合会 | スターチスの花アレンジ | 展示・体験 |

## 事業経過

| 実施年 | 月　日 | 事　業　内　容 |
|---|---|---|
| 平成30年 | 6月27日(水) | 実行委員会設立総会・第1回総会開催<br>実行委員会規程、事業計画、収支予算、企画検討委員会設置要綱、来場者記念品製作方針承認 |
| | 7月　4日(水) | 第1回企画検討委員会開催<br>記念品の検討。出展、出演団体募集要項、委託業者の選定を承認 |
| | 7月12日(木) | 平成30年度第2回県老連女性部会開催<br>記念品「真田紐のストラップ」に決定 |
| | 8月　1日(水) | 「地域文化伝承館実施計画書等策定業務」委託契約締結<br>テレビ和歌山・和歌山放送共同企業体 |
| | 8月20日(月) | 来場者記念品に関する調査<br>岡副会長、藤井事務局長、岩橋活動推進員が九度山町老連を訪問 |
| | 8月27日(月) | 「地域文化伝承館」出展・出演団体募集説明会開催<br>30市町村老連から56名出席 |
| | 9月12日(水) | 第2回企画検討委員会開催<br>出展、出演団体募集後の状況把握。とやま大会の出展、出演状況 |
| | 9月21日(金) | 平成30年度第3回県老連女性部会開催<br>九度山町老連 杉浦女性部長による「真田紐のストラップ」製作講習 |
| | 11月　3日(土)<br>～5日(月) | 第31回全国健康福祉祭とやま大会「地域文化伝承館」視察<br>赤阪会長、岡副会長が閉館式に出席、伝承館旗を引き継ぐ |
| | 11月26日(月) | 市町村単位老人クラブリーダー研修会で地域文化伝承館旗披露(和歌山市) |
| | 11月30日(金) | 市町村単位老人クラブリーダー研修会で地域文化伝承館旗披露(田辺市) |
| | 12月12日(水) | 第2回実行委員会及び第3回企画検討委員会の合同開催<br>富山県の視察報告、記念品製作状況報告、出展・出演団体の承認、ポスター・チラシ決定 |
| | 12月13日(木) | 「地域文化伝承館」出展・出演の承認通知 |
| | 12月27日(木) | 出展・出演団体の募集最終締め切り通知<br>締切日　平成31年2月15日(金) |
| 平成31年 | 1月 22日(火) | 全国及び県内関係各機関へチラシ・ポスター送付 |
| | 2月　4日(月) | 公益財団法人全国老人クラブ連合会に「主管」依頼 |
| | 2月13日(水) | 第4回企画検討委員会開催<br>オープニングアクト及び実施計画案、企画運営業務委託案・承認、会場視察 |
| | 3月　6日(水) | 第3回実行委員会開催<br>出展・出演の追加募集の承認、出展14団体、出演23団体に決定 |
| | 3月 11日(月) | 出展・出演団体への詳細調査依頼<br>4月8日までに出展14団体・出演23団体から回答あり |
| | 3月 19日(火) | 平成30年度第2回県老連理事会開催<br>実施計画案の報告 |
| | 3月 27日(水) | 平成30年度第2回県老連評議員会開催<br>実施計画案の報告 |

| 実施年 | 月　日 | 事　業　内　容 |
|---|---|---|
| 令和元年 | 5月　9日(木) | 令和元年度第1回県老連女性部会開催<br>記念品製作スケジュール協議 |
| | 5月 22日(水) | 令和元年度第1回県老連理事会開催<br>出展・出演団体の状況、今後のスケジュール報告 |
| | 5月 28日(火) | 九度山町老連との打ち合わせ<br>九度山町老連と記念品製作スケジュール協議 |
| | 6月　5日(水) | 令和元年度第1回県老連評議員会開催<br>出展・出演団体の状況、今後のスケジュール報告 |
| | 6月　6日(木) | 第5回企画検討委員会開催<br>出展・出演団体調査結果、負担金交付要領(案)、出演プログラム(案)、記念品製作スケジュール、運営スタッフ役割分担(案) |
| | 6月 17日(月) | 第4回実行委員会開催<br>負担金交付要領(案)、出演プログラム(案)、運営スタッフ役割分担(案)、記念品製作スケジュール |
| | 6月 18日(火) | 「地域文化伝承館企画運営業務」委託契約締結<br>テレビ和歌山・和歌山放送・Gプロ・リサーチ共同企業体 |
| | 7月　5日(金) | ふるまいの「はたごんぼ茶」について関係者と協議 |
| | 7月 11日(木) | 令和元年度第2回県老連女性部会開催<br>記念品製作スケジュール、真田紐ストラップ整え作業実技講習 |
| | 7月 16日(火) | 第1回出展・出演団体説明会開催<br>出展・出演団体調査結果、負担金交付申請、紹介資料作成、会場視察 |
| | 9月　3日(火) | 第6回企画検討委員会開催<br>運営スタッフマニュアル、出展・出演団体の手引きの検討、記念品、ポスター、チラシ等の説明 |
| | 9月 10日(火) | 地域文化伝承館 開館・閉館式の臨席案内文書送付 |
| | 9月 12日(木) | 令和元年度第3回女性部会開催<br>記念品の袋詰め作業 |
| | 9月 18日(水) | 各都道府県・指定都市老連等へチラシ・ポスター送付 |
| | 9月 20日(金) | 「地域文化伝承館企画運営業務」委託契約一部変更 |
| | 10月　2日(水) | 第2回出展・出演団体説明会開催<br>運営スタッフマニュアル、出展・出演団体の手引き等の説明、会場視察 |
| | 10月 17日(木) | 運営スタッフ説明会開催<br>業務内容や運営スタッフマニュアル等の説明 |
| | 11月　9日(土)<br>～11日(月) | 第32回全国健康福祉祭和歌山大会<br>ねんりんピック紀の国わかやま2019「地域文化伝承館」開催 |
| 令和2年 | 3月 12日(木) | 第5回実行委員会開催<br>令和元年度地域文化伝承館事業報告・決算報告等 |
| | 3月下旬 | 各都道府県・指定都市老連等へ報告書・DVD送付 |

# ハイライトアルバム

## 開館式



和歌山県福祉保健部
宮本 浩之部長あいさつ



公益財団法人全国老人クラブ連合会
清家 篤会長あいさつ



一般財団法人和歌山県老人クラブ連合会
赤阪 修一会長開催宣言




### オープニングセレモニー登壇者

諏訪園 健司 厚生労働省大臣官房審議官（左から４番目）
宮本 浩之 和歌山県福祉保健部長（同３番目）
金井 正人 一般財団法人長寿社会開発センター事務局長（同２番目）
安達 栄 スポーツ庁健康スポーツ課長（左端）
清家 篤 公益財団法人全国老人クラブ連合会会長（右から２番目）
赤阪 修一 一般財団法人和歌山県老人クラブ連合会会長（右端）









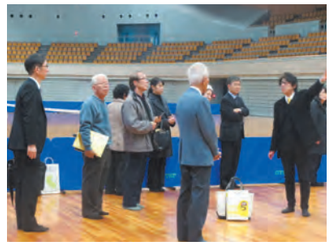



## 開催準備（会議・記念品製作）



平成30年度実行委員会・企画検討委員会





会場視察



令和元年度実行委員会・企画検討委員会





会場視察






出展・出演団体説明会







来館者記念品「真田紐ストラップ」製作





## 会場風景（運営スタッフ）


和歌山ビッグホエール


会場全体


スタッフ朝礼



受　付


班別打合せ




パンフレット追加袋詰







来館者記念品配布


パンフレット配布


スタッフ終礼(最終日)

## 会場風景（ふるまいコーナー）


県知事ご来館

















## 出　展


岩出市水墨画クラブ


フォトクラブ光彩


九度山町老人クラブ連合会


上富田町老人クラブ連合会女性部


秋津川炭琴サークル（紀州備長炭記念公園）


みなべ町長寿クラブ連合会


上田千歳会


岡老人クラブ


美浜町老人クラブ連合会女性部


南金屋クラブ


体験交流工房わらし


紀美野町老人クラブ連合会


御坊市老人クラブ連合会女性部


御坊市老人クラブ連合会



## 出　演


11月9日（土）　岩出甚句保存会


11月9日（土）　うたごえサークル


11月9日（土）　有田市老人クラブ連合会女性部


11月9日（土）　御坊創作ダンス有志の会


11月9日（土）　会津町鶴亀会


11月9日（土）　上富田町老人クラブ連合会女性部


11月10日（日）　広瀬連合広寿会


11月10日（日）　紀伊地区老連弘西太極拳サークル


11月10日（日）　打田すこやかクラブ


11月10日（日）　コア・ブレーメン


11月10日（日）　三輪崎老人クラブ女性部


11月10日（日）　御坊市フォークダンス愛好会

## 出　演


11月10日(日)　串本町老人クラブ連合会女性部


11月10日(日)　ハレハレヒミコフラ


11月10日(日)　さくらハーモニー


11月11日(月)　御幸辻幸寿会


11月11日(月)　かつらぎ町老人クラブ連合会女性部


11月11日(月)　若穂会


11月11日(月)　ピンクポロズ


11月11日(月)　北山村老人クラブ連合会



11月11日(月)　広川町老人クラブ連合会


11月11日(月)　高野口民謡サークル


11月11日(月)　美浜町老人クラブ連合会女性部



## 閉館式





一般財団法人和歌山県老人クラブ連合会
赤阪 修一会長あいさつ


一般財団法人岐阜県老人クラブ連合会
木村 一義会長あいさつ



伝承館旗伝達




万歳三唱

## 出展団体一覧［14団体］

| ブース番号 | 市町村 | 団体名 | 展示内容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 岩出市 | 岩出市水墨画クラブ | 展 水墨画 |
| 2 | 橋本市 | フォトクラブ光彩 | 展 写真 |
| 3 | 九度山町 | 九度山町老人クラブ連合会 | 展 実 体 真田紐作品(ストラップ、おひなさま) |
| 4 | 上富田町 | 上富田町老人クラブ連合会女性部 | 展 実 つるで籠を編む |
| 5 | 田辺市 | 秋津川炭琴サークル（紀州備長炭記念公園） | 展 体 紀州備長炭の炭琴・風鈴・オブジェ |
| 6 | みなべ町 | みなべ町長寿クラブ連合会 | 展 実 体 梅染め・梅干しマラカス・墨絵 |
| 7 | 橋本市 | 上田千歳会 | 展 陶芸品・作陶写真 |
| 8 | 上富田町 | 岡老人クラブ | 展 ひょうたん |
| 9 | 美浜町 | 美浜町老人クラブ連合会女性部 | 展 実 歴史を語る煙樹ヶ浜「松林」と「まつりん人形」 |
| 10 | 広川町 | 南金屋クラブ | 展 実 体 すすきのほうき・黒竹工芸品・陶芸品 |
| 11 | 有田川町 | 体験交流工房わらし | 展 実 体 紀州手漉き和紙「保田紙」の製品・藁加工品 |
| 12 | 紀美野町 | 紀美野町老人クラブ連合会 | 展 藁の亀と手芸品 |
| 13 | 御坊市 | 御坊市老人クラブ連合会女性部 | 展 実 紀州てまり |
| 14 | 御坊市 | 御坊市老人クラブ連合会 | 展 体 スターチスの花アレンジ |



# 岩出市水墨画クラブ
〈 岩出市 〉

11月9日(土)～11日(月)

ブース 1

## 水墨画 展

・後藤　弘　・高松 武朗　・竹田 俊和　・堂西 正善

岩出市では、〝活力あふれるまち〟、〝ふれあいのまち〟の実現に向け、文化振興の活性化に取り組んでおります。その一つとして、水墨画に興味と魅力を感じた人達が毎月2回教室に集い、先人達の教材を学んだり、ベテラン講師の方々から指導を受けながら、和気あいあいとした雰囲気の中で、研修会を楽しんでいます。今回は、4名の会員有志により、和歌山の名所旧跡を題材として、それぞれ個性的な表現を大切にした作品づくりに挑戦してみました。今後も、水墨画ならではの醍醐味と奥深さを求めて、感性を生かした作品を目指して活動を続けて、人生有意義な生涯学習に励んでいきたいと思います。水墨画に興味をお持ちの方は、是非ご一緒に墨に触れて楽しんでみませんか。












### 出展を終えて

水墨画の展示は、シンプルすぎて関心が薄いのではないかと内心心配していましたが、いざ、オープンになると同時に切れ目なく来場され、熱心にご覧いただき、われわれスタッフ一同安心しました。与えられたブースはメイン通路に面し、大勢の人が行き来する場所にあり、気軽に入場できるロケーションにあることとブースのスペースに合った作品をお客様目線で展示方法を工夫したことが受け入れられたと思います。来場者の作品に対する関心も高く、評価と共に描き方など多くの質問やアドバイスなども頂き全体的に好印象を持って頂きました。又、ブース出展の多くの方々と交流が図られたこと、ステージ出演者のハツラツした演技にパワーをもらったこと等、短期間のイベントでしたが、水墨画を通して多くの人と交流が図れ、多くの経験をさせていただきました。

今後も当水墨画クラブでは個性を大切にしながら作品作りを継続し、年齢を重ねても人との交流を大切にし、水墨画とかかわりながら生涯学習に励んでいきたいと思います。

# フォトクラブ光彩
## 〈 橋本市 〉

**11月9日(土)～11日(月)**

**ブース 2**

**写真** 展

・落合 和哉　・森　啓祐　・森川 司朗　・野口 政弘　・堀内 輝夫　・佐藤 慶子
・市川 和恵　・京瀧 伊都子　・堀内 一江　・小坂 眞智子

フォトクラブ光彩です。メンバーは只今16名で、橋本市山田地区公民館で毎月一回例会を開いています。持ち寄った写真は個性的な写真が多く、各人の自信作を公民館に展示しています。毎月自分の作品が展示されることで写真に対する意識が向上し、楽しみとなっています。写真展も年1回開催し、多くの方々から好評を得ており、撮影会、一泊旅行、懇親会等を随時行ない、大変なごやかな楽しい雰囲気の中でフォトクラブ活動を行っています。













### 出展を終えて

和歌山ビッグホエールを会場とした地域文化伝承館で、県下14団体が各ブースで展示を行いました。その団体の一つとして、フォトクラブ光彩は限られたスペース一杯に写真13点を展示し、全国から訪れた方々から好評を賜りました。このことは我々一同、今後の活動に大いに励みとなるものでした。と同時に、ねんりんピックに花を添えられたと自負しています。フォトクラブ光彩は、山田地区公民館のサークルとして、親睦を第一目標としています。和気あいあいで月一回の例会を行い、いつの間にか写真の楽しさを感じています。また、山田地区公民館には、常時全員の写真展示をしていますので、皆様是非お越しください。

最後に今回のねんりんピックに出展の機会を与えてくださった市老連に感謝申し上げます。



# 九度山町老人クラブ連合会
## 〈 九度山町 〉

**11月9日(土)～11日(月)**

**ブース 3**

**真田紐作品（ストラップ、おひなさま）** 展 実 体

・下坊 陽規　・杉浦　英　・岡　榮一　・松嶋 好朗　・仲前 和代　・阪口 洋子
・松岡 真由美　・小田 信彦　・深山 ひとみ

九度山町は、富有柿ブランドの産地として知られており、先のNHK大河ドラマ「真田丸」で一躍有名になりました。ドラマにも登場した真田紐は、木綿の縦糸と横糸で織った平たく狭い織物の紐で、現在も真田紐として流通しています。この紐は伸びにくく丈夫だったので、重い物を吊るしたり、物を縛る際に重宝してきました。関ヶ原の戦いの後、九度山に幽閉された真田幸村は、この真田紐を考案して生活の助けと情報収集のため全国に売りに歩かせたと言われており、刀の柄によく利用されたと伝えられています。また、大河ドラマ「真田丸」で更に名が売れ、現在は靴の紐や趣味の品として、ストラップや、帯締、木箱の飾り紐等に広く使われています。私たち九度山町老人クラブ連合会でも、この紐を使って作品展に作品を出したり、ブローチ、髪飾り、ブレスレット、コースター、雛人形等を作って楽しんでいます。










### 出展を終えて

今回の出展については、真田紐をメインにして九度山町を知ってもらうことに重点をおきました。先ず、準備には、どんな作品を真田紐でつくるか、アイデアが浮かべば作り、何回も試行錯誤しました。そして、やっと出来上がった作品は、来場者の方に大変人気がありました。また、作品の一つ一つがそんなに大きくなかったので、ブースに見栄えのあるものにする為、段ボールで作った真田幸村の甲冑や旗などを展示しました。本番では、前日に予行演習を行っていたので、とてもスムーズに展示することができて良かったです。体験コーナーでは、真田紐のキーホルダーを作っていただくため、下準備として半完成品を用意していたので、製作の時間短縮ができ、より多くの方々と交流することができて良かったです。

今回多くの方に来場していただき、九度山町をPRすることができ、この年齢で、皆で力を合わせて同じ目標に向かって一生懸命になるという経験が出来て幸せでした。また、このような機会をいただき本当にありがとうございました。

# 上富田町老人クラブ連合会女性部

〈 上富田町 〉

11月9日(土)～11日(月)

ブース 4

## つるで籠を編む 展 実

・吉田　榮　・岩本 幸子　・宮野 勝代　・植田 一枝　・沖田 公子

熊野の西端に位置する上富田町は、古くは水陸交通の要衝地として、更には海と山との産物が行き交う交易上の要地として、重要な役割を果たしてきました。平安時代に入り熊野信仰が盛んになり、熊野詣での山間部を行く中辺路街道と海岸部を行く大辺路街道との分岐点であったことから「口熊野」と呼ばれ栄えてきました。また、南方熊楠の関心の高かった地でもありました。こうした歴史的背景と、温暖な気候と清流富田川の流れ、肥沃な風土に恵まれたその森には、あけび、ふじ、かずら、つた等々、様々なつるが繁茂し、先人達はそれを山仕事や畑、又は家庭用品などに編み使用してきました。女性部では、その一端を経験してみようと、今も「つるで籠を編んでいる」会員の岩本さんの手ほどきを受け挑戦してみました。中々大変でしたが頑張って作ってみました。










### 出展を終えて

私たちは、つる籠を編む段階では悪戦苦闘しながら籠を編み上げました。おかげで本番では陳列もきれいに出来上がりました。周りの立派な作品など見せてもらいましたが、それらと比べて私たちのブースは質素でしたが、大勢のお客さんが見に来てくれて、あるお客さんは「触ってもいいですか」と言いながら、「私も蔓あるんやけどなかなかこんなに編めないわ」「蔓を柔らかくするのどうしたらいいの」とか聞かれました。他にも色々聞いてくれる方が大勢おられ、興味をもってくれたり、懐かしがられました。質問や触っていただいたりして、いろんな話が聞けて「良かった」と胸をなでおろしました。今回、いろんなことを経験できたことは大変うれしかったです。

今後も、今までどおり籠を編み続けたいと思っています。



# 秋津川炭琴サークル（紀州備長炭記念公園）

〈 田辺市 〉

11月9日(土)～11日(月)

ブース 5

## 紀州備長炭の炭琴・風鈴・オブジェ 展 体

・北川 佳子　・原 美代子　・坂本 聡美

秋津川炭琴サークルは、平成6年に備長炭の発祥地田辺市秋津川地域の公民館サークルとして生まれました。地元の主婦12名を中心に、和歌山県の特産品「紀州備長炭」を音楽という観点から情報発信しており、全国的にも大変珍しく、テレビ、マスコミ等で度々取り上げられています。家事などの合間に練習に励み、県内外のイベントや福祉施設の慰問など積極的に活動しています。備長炭は本来、燃料として用いられてきましたが、紀州備長炭は鋼鉄のように非常に硬く、叩くと澄み切った音がします。その音色は木琴より硬く、鉄琴より温かい響きがします。その紀州備長炭で作られた楽器ということで、炭琴と名付けられました。紀州備長炭記念公園では、木炭の歴史や文化、種類、用途などをわかりやすく説明し、公園内にある炭窯では、備長炭の製炭を実際に見ることができ、木炭への理解を深めることができます。












### 出展を終えて

展示品（オブジェ等）で地域性をアピールしたく、枝物等季節の材料の採集に苦労しました。備長炭の使い方をPRする為、写真を撮り、素材を集めポスターを作るのに苦労しました。風鈴体験は好評でしたが、単価が1980円したため、人数が限られたものになりました。展示した炭琴を大勢の方にたたいてもらえて良かったです。

今後は、県の特産物である備長炭の多様性を「炭琴」を通じてPRしていきたいです。そして、音楽を楽しみつつ微力ながら地域の活動等に貢献できればと思っています。

# みなべ町長寿クラブ連合会
〈 みなべ町 〉

11月9日(土)～11日(月)

ブース 6

## 梅染め・梅干しマラカス・墨絵 展 実 体

・二葉 美智子　・長滝 益実　・大野 コマサ　・永井 俊子　・山西 啓子　・田端 祐美子
・石上 みゆき　・坂本 芳子　・岩崎 せつ　・青木 友宏

みなべ町は、和歌山県のほぼ中央に位置し、日本一のブランドを誇る「南高梅」が有名なまちです。みなべ町といえば“梅”。この度、その梅をテーマにしたブースを設けました。梅染めは、主にハンカチやストールを梅の木や皮を砕いて煮出した染液で染めること、また、染めたものやその色のことをいいます。仕事を終えた古木から出る優しい「梅色」は、私たちの目と心を癒してくれます。梅干しマラカスは、楽しみながら地域の良さも感じられる楽器として創造しました。内容物に梅干しの種や梅栽培地の礫質土壌、備長炭、貝殻を用い、梅干しの形をした楽器に地域のストーリーを込めました。また、梅の墨絵の展示も行っており、時代とともに移りゆく南高梅の姿を描写しています。多くの方にお越しいただき、展示や体験を通して梅のまち“みなべ町”の良さを知っていただけると幸いです。








### 出展を終えて

体験コーナーに多くの人が来てくれて良かったです。3日間で体験するものを変えたので、連日来てくださる方もいました。梅一色のブースにしたこと、また、梅干しを配ったことで梅の町みなべ町を来場者の方に印象付けられたのではないかと感じました。老人クラブの人々が日頃頑張ってやっていることを披露できとても良かったです。照明は準備すれば良かったです。あるのとないのとでは見栄えが全く違いました。また、体験コーナーのあるなしでお客さんの出入りに差があると感じました。体験コーナーに多くのお客さんが来てくださったとき少しブースが狭く感じました。15時以降はお客さんの出入りも少なくブース担当の人々は疲れている人がほとんどだった。

今後の活動については、今まで取り組んでこられた活動を継承していけるような取り組みを行っていきたいと思います。



# 上田千歳会
〈 橋本市 〉

11月9日(土)～11日(月)

ブース 7

## 陶芸品・作陶写真 展

・平林 裕次　・田中 照造　・上田　榮　・中道 政幸　・橋本 寛基　・内藤 喜和
・大宅 ミドリ　・森　紘美　・北川 美智代　・鞆浦 昭男　・岩峪 喜美枝

橋本市の紀の川南岸に位置する167戸の小さな集落で、会員数76名からなる上田千歳会です。
上田千歳会の年間事業活動は、日帰り旅行、昼食会、社会奉仕、親睦会、グラウンドゴルフ、陶芸教室など自由に参加できる活動を行って親睦を図っています。
★上田千歳会陶芸教室〈土と楽しく遊ぼう…老人クラブ会員の健康体をつくる〉
①体の健康…作陶時の手・体の運動　②心の健康…作陶品の完成時の喜び　③頭の健康…展示会出品等での見方、考え方がかわる。








### 出展を終えて

全体的に出展されている各地域の老人クラブの方々や特に各地方からこられた方々との交流では、“健康寿命に対して、日常生活や食事や健康体操や人と人とのコミュニケーションによる心の健康”について、どの様に活動しているのか、多くの話題になり、勉強することや反省することもありました。我々の上田千歳会の陶芸部のテーマは、①体の健康②心の健康③頭の健康、3項目のテーマで全員頑張っています。

今後の健康寿命つまり、日常生活を支援なく自分で楽しく安全に生活できる様に、日頃から転倒しない体力作りや食事バランスやコミュニケーションによる心のケアなど行い、健康寿命を延ばすことが大切であると考え、活動し続けていきたいと再度考える大会であったと感謝しています。

# 岡老人クラブ
〈 上富田町 〉

11月9日(土)～11日(月)

ブース 8

## ひょうたん 展

・中道　武　・上田 正夫　・田上 さよ子　・坂口 岳寛　・関口 玲子　・深見 赳夫
・澤田 兼行　・福山 栄子　・射場 一美　・田中 美智代　・中村 克彦

50年程前、当時の老人会の人達が仲間作りで「何かをしよう」ということになり、ひょうたん作りはどうかいうことで、試しに種子を取り寄せ20人位で栽培を始めました。その時の種子屋の店長が言っていたとおり、その後、ひょうたんの生産が追いつかないくらいのブームが到来し、かなり高価な品でも順番待ちの時もありました。そして、一段と生産にも力を注ぐようになり、全国愛瓢会で入賞するなど、ついには日本一の表彰を受けた人も出ましたが、そのブームもやがて下火となり、作っても在庫だけが増え、生産意欲も徐々に下がってきていました。ところが、5、6年前に、鹿毛さんが作った「ひょうたんせんぱい（上富田町のマスコットキャラクター）」の人形がちょっとしたブームになって、今また少し気合を入れてひょうたん作りに精出しているところです。町内を走る巡回バスにも大きな「ひょうたんせんぱい」の絵柄があって、結構評判がいいようです。












## 出展を終えて

日本全国津々浦々多くの方々との出会いを楽しませて頂きました。私たちの老人クラブも例外でなく後継者不足に悩まされておりますが、今回、改めて老人パワーの発揮できる有難い場を提供して頂いたと感謝いたしております。展示内容については、もう少し資料を充実させて皆様に紹介できたら良かったなあ、もう少し現場の写真を用意すれば良かったなあと残念な部分が結構ありましたが、満足できる出来栄えで100点をつけたいと思っています。ここ10年余ひょうたんを作っては、在庫、在庫の繰り返しでやる気もなえていましたが、平成29年に町のマスコットキャラクター「ひょうたんせんぱい」が誕生したことをきっかけに、小さな千成ひょうたんで人形づくりをはじめたところ、人気が出てがぜんやる気モードになって来ました。また、LEDを使ったひょうたんランプの人気が出てきたことから、結構問い合わせが来るようになり、おかげで在庫の整理も随分進んで喜んでいます。

今後も老骨にムチ打って頑張ってみようかなと皆で話し合っています。



# 美浜町老人クラブ連合会女性部
〈 美浜町 〉

11月9日(土)～11日(月)

ブース 9

## 歴史を語る煙樹ヶ浜「松林」と「まつりん人形」 展 実

・坂本 和子　・湯川 和子　・吉井 公子　・吉田 幸子　・濱田　操　・早川 悦子
・小川 裕子　・土谷 圭子　・松本 恵子　・中井 順子　・新家 優民子　・池田 フサエ
・井本 景子

私達の住む美浜町には、長さ4.5キロ、幅500メートルの大松林があります。今から400年余前、紀州の初代藩主徳川頼宣公が塩害を防ぐために、松の木を植林し、御留山と名付け、一本の木も切ることを許さず保護してきた立派な松林です。松の恩恵を受けて暮らす私達は、まるで松笠「まつぼっくりん」です。美浜町老人クラブ連合会女性部の活動の一つとして、編み物教室を開き、みんなで町のイメージキャラクターの「まつぼっくり」の「まつりん人形」を作り、笑顔いっぱいのおもてなしをいたします。「まつりん人形」の頭は松笠、松葉の緑のスカートを纏い、胸に町の花、ひまわりのペンダントをつけてみんな笑っています。また、松葉落ち葉を掻き集め堆肥にして「松きゅうり」「松トマト」等を栽培し、人気を博しています。












## 出展を終えて

一年前に「歴史を語る煙樹ヶ浜と･まつりん人形」と銘打ってやろうと決めました。早速、町のキャラクター、まつりん人形を、毛糸で手編みしようと「編み物教室」を開設、約70名が集まり完成するまで教室を何度も開きました。細かい網目に四苦八苦しながらも、回を重ねる度、和やかな雰囲気で女性部として親睦を深める格好の時間でもありました。丹精込めて仕上げた人形は、自分に代わり伝承館へ参加することに皆、感慨深いものがあったようです。4百年の歴史を語る煙樹ヶ浜の松林と女性部手作りの「まつりん人形」を伝承したく務めました。揃いのユニホームにエプロンを着けて、最初は、どう立ち振る舞えば良いのか戸惑いもありましたが、直ぐ場馴れしました。3日間、13名の部員が交代で笑顔の対応、美浜町老連女性部の元気を発信出来たと思います。特に、「まつりん」を描いたシールの配布は、お子様連れの方や御婦人層に人気があり、喜んでくれました。皆さんの表情が達成感に満ちていました。

「これが終わりではなく、この経験を生かし今後も活動の場をワンチームで広めよう。」と口を揃えました。これを契機に女性部での活動の輪を広め、高齢になっても「やれば出来る」の自信を今後に繋げていきたいです。

# 南金屋クラブ
〈 広川町 〉

11月9日(土)～11日(月)

ブース 10

## すすきのほうき・黒竹工芸品・陶芸品 展 実 体

・下口 勝弘　・西岡 種弘　・西岡 幸子　・佐藤 明子　・浅井 康次　・浅井 政子
・下口 ヒサコ

私たち南金屋クラブは、長年、サロン活動を月1回地元で行い、その活動の中で、手芸品や工芸品を日々作ってきました。今回は、すすきのほうき・黒竹工芸品・陶芸品を展示しています。是非、一度立ち寄っていただき、作品をご覧ください。体験コーナーでは、展示している同じものを作っていただき、自宅に持ち帰り、飾っていただければと思っています。













### 出展を終えて

展示作品は、日々のサロン活動で製作していたので、苦労せず上手くいきました。ブースも本番前日まで見られないため、自分たちで仮想ブースを作り、展示方法を考えました。荷降ろし場所からブースまでの距離が長く、作品数も多かったため、作品の搬入・搬出に苦労し、何往復もしました。工芸の体験では、想定していたよりも、多くの来場者が来られたため、すべての来場者にプレゼントを渡せませんでしたが、来場者にプレゼントした工芸品は、とても喜んでくれて好評でした。作品の展示・実演は、スムーズにいって良かったです。自分たちの代で、地域文化伝承館に参加できたことは、非常にいい経験となりました。

今後も、サロン活動を通じて工芸品等を作っていきたいと思います。



# 体験交流工房わらし
〈 有田川町 〉

11月9日(土)～11日(月)

ブース 11

## 紀州手漉き和紙「保田紙」の製品・藁加工品 展 実 体

・白藤 勝俊　・林　長代　・嶋本 三恵子　・合田 映子　・木下 克宏　・白藤 邦子

紀州手漉き和紙『保田紙』は、江戸初期紀州初代藩主徳川頼宣公の命により、山保田組（旧清水町）の大庄屋笠松左太夫が興した紙です。約400年の歴史を持ち、大正時代から昭和初期の最盛期には、480軒の漉き屋があったと伝えられています。当初はお城で使用する紙でありましたが、和傘用の紙へと広がり、現在では、書画用紙は勿論のこと、手芸や襖の内張り壁紙などにも使われていますが、葉書、便箋、一筆箋等の製品化もされています。藁の加工品は、地元の御婦人方が当工房に集い、ムシロやゾウリ、ワラジ、しめ縄作りを行い、その工法を次世代へ継承しようと努力しています。最近は、全国的にも藁細工職人が少なくなってきたようで、遠くからの問い合わせや注文が絶えません。同工房では祝日と水木以外、見学や体験の受け付けも行っています。












### 出展を終えて

いつも行っている事の他に、本番で使う材料、サンプル等を何日もかけて作っていくのが大変でしたが、楽しみでもありました。参加させてもらって大変うれしかった。ワクワクしました。思っていた以上にたくさんの方に体験していただけたのが良かったです。

地域文化伝承館に参加させていただいたことを誇りに思いながら、これからも続けていきたいです。

# 紀美野町老人クラブ連合会

〈 紀美野町 〉

11月9日(土)～11日(月)

ブース 12

## 藁の亀と手芸品 展

・寺中 シゲミ　・井村 順弘　・山本 和美　・坂　明雄　・丸田 文雄　・中西 耐子
・上中 けい子　・阪口　毅　・岩橋 良明　・柳　美登　・神谷 敏雄　・神野 喜文
・中家 忠詞　・堀口 義子　・坂垣内 文子　・森谷 美喜子

紀美野町は、高野山を源に持つ「貴志川」が東西に流れ、南部には長峰山系の県立自然公園「生石高原」が広がり、また、県内最大の大型望遠鏡を有する「みさと天文台」では、月明かりがない良く晴れた夜には肉眼で天の川を観ることができる風光明媚な町です。農業が盛んで、古くから藁は、私たちの生活に欠かせないものでありました。今回展示させていただく「藁の亀」は、長谷毛原地区の仲前節子さんに教えていただきながら、中には初めて触ったという方もあり、皆様に少しでも良いものを見ていただこうと試行錯誤し、編み上げました。また、作品展示にあたり、女性部の方々で小物や手芸品、連合会からは爪楊枝で作った「青岸渡寺」を展示協力していただきました。少しでも皆様に紀美野町の作品をご覧いただき、機会がございましたら是非、紀美野町へお越しください。












### 出展を終えて

準備期間を含めブース参加の4日間に対して、各地区の代表者が早朝より交代で会場に足を運んでくださいました。どのようなものを出展するか、前もって説明していたので、他府県の来場者に対し、とても丁寧に皆さんが、説明してくださっていました。“懐かしいわが故郷だ”と言って見てくださる方も何人かいて、昔話で盛り上がっていました。地味な展示でしたが、亀が欲しいとか、松ぼっくりが欲しいと申してくださった方もいました。作り方を教えて欲しいという方もいました。お互いのブースの皆さんとも展示品の交換が出来て、親しくなれて有意義な日々でした。展示品を作るにあたり、各地区で中心になって材料集めから、制作までしてくださる役員さんや一人でコツコツ作ってくださる方、又材料収集に力を入れてくださる方や全員で何回も集まって作ってくださる地区と、目標に向かって心一つにしてくださいました。これを契機に時々集まって、楽しい町にしていきたいです。今回特に男性の役員さんには、搬入から、展示、撤収、製品づくりに協力して頂いてありがたかったです。今までこんな機会が無かったのでより一層強く感じました。



# 御坊市老人クラブ連合会女性部

〈 御坊市 〉

11月9日(土)～11日(月)

ブース 13

## 紀州てまり 展 実

・井上 幸代　・稲垣　勝　・赤阪 修一　・磯　和美　・柏木 正之　・木下 廣美
・的場 昭子

全国各地には、「南部姫鞠」、「松本てまり」、「加賀てまり」等々様々な和てまりが伝えられておりますが、和歌山県においても、童謡『毬と殿さま』で歌われている「紀州てまり」が伝えられています。紀伊徳川家の藩祖徳川頼宜(1602～1671)により中央の技法が取り入れられ、発展したと言われています。しかし、昭和の初期頃には忘れられ、その作り方を知る者は少なくなってきましたが、神社仏閣や旧家に保存されていたものを元に、様々な人によって昔の技術が復元されて現在に伝えられています。御坊市においても、老人クラブ女性部で趣味として作り伝えられています。












### 出展を終えて

当日の会場では、来場者の方々からは、制作工程等の様々な質問をいただきましたが、各自が教室に通った経験を生かしての説明ができたとお互いに感じました。来場者の中で、比較的若年層の方から、習ってみたいとの意見があり、自宅近くでの教室の有無を聞かれたのは意外でした。また御高齢の経験者の方と、制作上の失敗談等で盛り上がることができて大変有意義な三日間でした。

和歌山県老人クラブ連合会の大イベントの機会にめぐり合わせて、「紀州てまり」の出展の機会を得て、紆余曲折もありましたが、イベントの末席で参加できたことに感動しましたし、今後のクラブ活動の励みになります。

# 御坊市老人クラブ連合会
〈 御坊市 〉

11月9日(土)～11日(月)

ブース 14

## スターチスの花アレンジ 展 体

・南出 文子　・米倉 信治　・柏木 正之　・的場 昭子　・岡 美江子　・木村　茂

御坊市の名田町は、施設園芸の盛んな地区で、近年では花卉栽培が盛んで、特にスターチスが多く栽培されております。この花の生産では、和歌山県は全国の50%を出荷しており、その内の70%を御坊市で生産されています。その他にも名田町では、カスミ草、スイトピー、ガーベラ等も生産され、花卉栽培の盛んな地域です。スターチスは、見た目にカラフルで色も多彩ですが、花に見えているところは、実はガクで、花はその中に白い花があります。ガクは散ることがないので、花もちが長く見えます。また、花(ガク)も茎も、比較的に色あせないまま乾燥するので、長期間飾っておける特徴からスターチス全般の花言葉は、「変わらぬ心」「途絶えぬ記憶」「驚き」で、色別では紫花「しとやか」「上品」、黄花「愛の喜び」「誠実」、ピンク「永久不変」などがあります。







### 出展を終えて

伝承館当日に希望の花が揃うか生産農家との打ち合わせ、アート生け花は、会場での一発勝負的でイメージは空想するばかりで、当日まで不安でした。三日間で、約1,500束の小花束を、無料配布すべく二週間前から女性クラブ員で製作しましたが、花が前々日に変色し、再度一から作り替えましたが、窮地になればこそ、お互いの頑張りを認め合うことが出来ました。アート生け花は、ブース内を華やかに飾ることができて大変好評でした。さらに、小花束の無料配布も三日間を通じて大変好評で、ほぼ全日午前中で配布が終了しました。今回の出展について、すべてが順調に進まなかったことで、クラブ員が互いに協力することの必要性を改めて認識できたことは、大きな成果で、今後のクラブ活動にも影響するものと感じました。

大イベントの機会にめぐり合わせて、「スターチス」の出展の機会を得て、紆余曲折もありましたが、イベントの末席で参加できたことに感動しましたし、今後のクラブ活動の励みになります。



## 出展スタッフ

### 11月9日(土)




### 11月10日(日)




### 11月11日(月)



## 出演団体一覧［23団体］

### 11月9日（土）

| 時間 | | 市町村 | 団体名 | 分野 | 出演内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 9:45 | | 合同オープニングセレモニー（開館式） | | |
| | 9:55 | | オープニングアクト（木ノ本の獅子舞） | | |
| | | | 午前の部（10:30～12:00） | | |
| 1 | 10:30 | 岩出市 | 岩出甚句保存会 | 歌・踊り | 岩出甚句、岩出おどり |
| 2 | 10:45 | 湯浅町 | うたごえサークル | コーラス | みかんの花咲く丘、毬と殿さま、青い山脈 |
| 3 | 11:00 | 有田市 | 有田市老人クラブ連合会女性部 | 民踊 | 有田みかん摘み唄 |
| 4 | 11:10 | 御坊市 | 御坊創作ダンス有志の会 | 創作ダンス | 熊野古道、愛の讃歌 |
| 5 | 11:25 | 田辺市 | 会津町鶴亀会 | コーラス | 浜辺の歌、みかんの花咲く丘、毬と殿さま、もみじ、ふるさと |
| 6 | 11:40 | 上富田町 | 上富田町老人クラブ連合会女性部 | 民踊 | 上富田音頭 |

### 11月10日（日）

| 時間 | | 市町村 | 団体名 | 分野 | 出演内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 午前の部（10:00～11:00） | | |
| 1 | 10:00 | 和歌山市 | 広瀬連合広寿会 | 民踊 | 新・吉宗おどり |
| 2 | 10:07 | 和歌山市 | 紀伊地区老連弘西太極拳サークル | 中国民族舞踊 | 新疆 天山歓歌 |
| 3 | 10:11 | 紀の川市 | 打田すこやかクラブ | 玉すだれ | 紀の川音頭 |
| 4 | 10:21 | 印南町 | コア・ブレーメン | コーラス | いのちの理由、ねんねねむの木、わが町の木々たちよ |
| | | | 午後の部（14:15～15:30） | | |
| 5 | 14:15 | 新宮市 | 三輪崎老人クラブ女性部 | 民踊 | 鯨踊り、新宮踊り |
| 6 | 14:30 | 御坊市 | 御坊市フォークダンス愛好会 | フォークダンス | 北上夜曲、浜辺の歌、タンゴポキート |
| 7 | 14:45 | 串本町 | 串本町老人クラブ連合会女性部 | 民踊 | 正調串本節 |
| 8 | 15:00 | 新宮市 | ハレハレヒミコフラ | フラダンス | 憧れのハワイ航路、ハナレイムーン、明日へと |
| 9 | 15:13 | 白浜町 | さくらハーモニー | コーラス | 毬と殿さま、花かげ、富士山 |

### 11月11日（月）

| 時間 | | 市町村 | 団体名 | 分野 | 出演内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 午前の部（10:30～11:30） | | |
| 1 | 10:30 | 橋本市 | 御幸辻幸寿会 | 踊り | 獅子と踊ろう お祭りマンボ |
| 2 | 10:43 | かつらぎ町 | かつらぎ町老人クラブ連合会女性部 | 踊り | かつらぎ音頭 |
| 3 | 10:58 | 有田川町 | 若穂会 | 民謡 | 有田三吉踊り唄 |
| 4 | 11:08 | 有田川町 | ピンクポロズ | 健康体操 | シニアエクササイズ |
| | | | 午後の部（13:00～14:00） | | |
| 5 | 13:00 | 橋本市 | 高野口民謡サークル | 民謡 | 紀州幟上げ音頭、新串本節、大師音頭 |
| 6 | 13:15 | 北山村 | 北山村老人クラブ連合会 | 民踊 | 北山村音頭 |
| 7 | 13:30 | 美浜町 | 美浜町老人クラブ連合会女性部 | 健康体操 | まつりん&ぼっくりん体操 |
| 8 | 13:40 | 広川町 | 広川町老人クラブ連合会 | 寸劇 | 稲むらの火 |
| | 14:00 | | 地域文化伝承館　閉館式 | | |



# 木ノ本の獅子舞保存会
## 〈 和歌山市 〉

11月9日（土）

ステージ OP

### 木ノ本の獅子舞

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ・谷河　績 | ・木本 隆夫 | ・垣内 崇志 | ・田内 康仁 | ・垣内　章 | ・中谷　勝 |
| ・笹山 欣郁 | ・梅尾 和史 | ・瀬村 皇紀 | ・佐原 正康 | ・日浦 正敏 | ・東　信浩 |
| ・東　良功 | ・深谷 英治 | ・中谷 昇吉 | ・前田 晃明 | ・木本 富夫 | ・山田 太郎 |
| ・谷河 敏哉 | ・栗栖 正満 | ・東　直樹 | ・笹山　翔 | ・中谷　薫 | ・垣内 光太 |
| ・谷河 真次 | ・貞木 龍俊 | ・東　正弘 | ・塩浜 瑛人 | ・中谷 吉治 | ・塩浜 圭人 |

木ノ本の獅子舞は、木ノ本にある木本八幡宮の祭礼に奉納されるもので、500年の伝統があると伝わる和歌山県指定無形民俗文化財です。木ノ本地区は、古くは今から1300年前に奈良の大安寺により開拓され、その後東大寺の寺領となり、八幡宮が一帯の鎮守となったとされています。青年二人が雄獅子の胴衣に入って演ずる勇壮活発な獅子舞は、特に地上5mに渡した2本の青竹の上を舞うダンジリ上の舞いが有名です。獅子が谷底に蹴落とした我が子の這い上がってくる姿を待ちながら、谷底をのぞく様子を演出しています。













# 岩出甚句保存会
## 〈 岩出市 〉

**11月9日(土)**

**ステージ 1**

### 岩出甚句、岩出おどり

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ・藤川 知良 | ・西林 雅子 | ・奥平 勝代 | ・佐東 匡郎 | ・瀧尻 武子 | ・杉本 登美子 |
| ・竹友 美代子 | ・谷　芳江 | ・寺口 美都 | ・冨藪 岑子 | ・畠中 美佐子 | ・山林 恵美子 |
| ・末永 賀代 | ・秋月 眞優美 | ・前田 知代 | ・山本 幸枝 | ・尾崎 真千代 | ・福田 史子 |
| ・山之内 三世子 | ・福元 文代 | ・榊 恵美子 | ・松平 スミ子 | | |

岩出甚句保存会は、故郷への思いを厚くする皆さんの集まりで、長らく途絶えていた岩出甚句を復活させたいという思いから、平成9年6月に結成した組織で、当時の甚句を知る人から聞き伝えを整理する活動が始まりです。この甚句は、「トコドッコイ、ドッコイ」を掛け声とする囃子言葉からも関取が化粧まわしを締めて行う土俵入りの晴れ姿を連想させるもので、江戸時代から明治にかけて流行した角力甚句からきたものとされています。現在、私たちは、市のイベントに参加したり、高齢者施設への慰問等の活動を行っており、今後も岩出甚句を貴重な伝統文化として、継承していきたいと考えています。そして、岩出おどりには、岩出の歴史と未来への希望にみちて楽しく踊りながら、健康を支え、心身を守り鍛えるという意味が込められており、昭和46年に制定され、現在では、広く市民に定着した踊りとなっています。











### 出演を終えて

踊りに使う法被については、新しくするのにいろいろ考えて作りました。毎月2か所の老人ホームの慰問に行っており、月に1回、練習をしていますので、特別な練習はしませんでした。本番までにリハーサルの時間がなかったので、不安でしたが、何とか無事に踊ることができました。

今後も、今までどおりに老人ホームへの慰問や市の行事等に参加していきたいと思っています。

# うたごえサークル
## 〈 湯浅町 〉

**11月9日(土)**

**ステージ 2**

### みかんの花咲く丘、毬と殿さま、青い山脈

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ・湯森 佳代 | ・滝川 清美 | ・市間 智子 | ・阿野 和代 | ・岩倉 富美子 | ・坂口 澄世 |
| ・梅本 教子 | ・半辺 隆子 | ・小川 チエ子 | ・亀井 キヨ子 | ・栗山 かず代 | ・宮崎 まさみ |
| ・高野 才子 | ・長谷川 佳子 | ・松下 禮子 | ・原　房子 | ・萬川 敏子 | ・藪野 和枝 |
| ・吉本 照代 | ・吉本 秀子 | ・前田 友子 | ・丸山 良子 | ・森安 栄子 | ・塩崎 ます代 |

湯浅町老人クラブ連合会うたごえサークルは、町老連生きがい対策事業の一つとして、平成8年より活動しています。現在、35名の会員が所属し、毎月1回、昔懐かしい童謡やポップスなどを練習しています。この活動に毎月、ボランティアでご協力頂いている2名の先生方よりコーラスの専門的なご指導を受け、若い方たちに人気のある曲などを練習に取り入れて頂くことで、気持ちを若々しく保つことができています。うたごえサークルで習った曲を口ずさみながら、家事を済ませる会員も多く、毎日の生活をわくわく楽しく過ごすために、欠かせない活動となっています。また、町老連主催の演芸大会への出演や保育所への訪問活動を行い、幅広い年齢層の皆さまからもご好評頂いています。今回の出演に向け、皆さまに喜んで頂けるよう練習に励んできましたので、ご存じの歌があれば、私たちと一緒に歌いながら楽しんでください。











### 出演を終えて

本番までに当日の会場でリハーサルができなかったので、ぶっつけ本番で不安がありました。前日に、会場の視察と電子ピアノを搬入しました。他の団体のリハーサル等があったが、音響スタッフの方が親切・柔軟に対応してくれました。今回のような機会があると老人クラブ会員の楽しみや生きがいになると思います。

今後も、県内の老人クラブ会員が活動発表等を通じて互いに交流できるような場があればいいと思います。

# 有田市老人クラブ連合会女性部
〈 有田市 〉

11月9日(土)

ステージ 3

## 有田みかん摘み唄

・井上 正子　・岡﨑 武子　・谷口 文子　・川嶋 弘子　・米田 照代　・御前 和子
・橋爪 誠子　・嶋田 安代

私達女性部会員は、毎年秋に開催される有田市長寿祭に総踊りで出演しています。夏になると公民館に講師を招き、練習を始めます。振り付けを覚えるのは大変ですが、皆で励まし合いながら練習をし、本番に挑みます。また、友愛訪問等も行っています。他にも、会員同士の絆を深める為、女性部員が講師になり、男性会員に料理を教える「男性料理教室」を毎年開催しています。女性部でレシピを考え、慣れない手つきの男性会員とわいわい言いながら、楽しいひと時を過ごします。今回出演するにあたりみかんの小物を手づくりしましたので、そちらもご覧いただけると嬉しいです。







### 出演を終えて

踊りの練習の回数が多くて大変でした。みかんの小物作りなども、衣装、小道具の作成に時間がかかり大変でした。当日配るみかん10箱を前日搬入させていただいたのは大変助かりました。ありがとうございました。本番での踊りは練習の成果を出すことができ、うまく踊れました。踊りの後、会場の皆様方にみかんを配り、みんなに喜んでもらえて良かったです。今回出演するにあたり、今年は練習の回数も多く、小物づくりにも時間がかかったが、出演は楽しく、また「ねんりんピック」というなかなか立つことの出来ない大きな舞台で演技できたことはとてもいい経験になりました。

出演の次の日は、有田市民会館でのねんりんピック民謡交流大会にも踊りで出演させていただいたので、より会員との絆が深まりました。



# 御坊創作ダンス有志の会
〈 御坊市 〉

11月9日(土)

ステージ 4

## 熊野古道、愛の讃歌

・青木 幸子　・森澤 廣子　・岡田 公子　・玉置 照子　・竹田 八壽子　・赤阪 加也子
・大川 クミコ　・小川 香苗　・和田 房美　・山本 京子　・湯川 勢智子　・脇野 かほり
・茶畑 けい子　・田ノ本 零子

私たち御坊創作ダンス有志の会は、6年前に茶畑先生と出会い指導して頂けることになりました。月2回の練習でダンス部23名練習に頑張っています。いつも練習はストレッチ、ダンスのバリエーションをしたあとダンスに入ります。表現やターン、ハードな動きもできるようになりました。練習中に動きが難しい時は、先生が上手に振付を教えてくれて、楽しく踊っています。今回は、今まで積み上げてきた創作ダンスの中から、世界遺産に登録された熊野古道の曲で、オーガンジーの着物を持ってダンス表現、ターンやハードの動き、情感込めてステージいっぱいに踊ります。二曲目の愛の讃歌は、赤い衣装を身にまとい、人を愛する思いを込めて綺麗に流れて踊るダンスを見てください。私たち御坊創作ダンス有志の会は、ねんりんピックに出演できること大変うれしく思い一生懸命踊ります。よろしくご鑑賞ください。






### 出演を終えて

舞台の両脇に2体の伝承館置物があったので、舞台が狭くフォーメーションが思うようにいきませんでした。当日舞台で場当たりだけでもやりたかったです。スタッフの皆さんは親切で緊張している私たちに声を掛けて緊張をほぐそうとしているのがわかり嬉しかったです。私たちの衣装を見て「わー若い」といってくれ拍手も多かった。出演が午前中だったので演技の終わった後、館内のブースを見て回れたのが良かったです。

地域文化伝承館で創作ダンスを披露出来たことは大変嬉しく、これを機会に今後出演交流があれば参加したいと思います。

# 会津町鶴亀会
〈 田辺市 〉

11月9日(土)

ステージ 5

## 浜辺の歌、みかんの花咲く丘、毬と殿さま、もみじ、ふるさと

・山本 貞一　・羽山 敏子　・田端 紀美子　・森　良子　・田中 絹代　・佐武 美代子
・榊原 紀代子　・梅田 富子　・稗田 洋子　・中井 三智子　・西川 貞代　・宇津 孝子
・広井 喜代　・初山 泰子　・山本 美和子　・山本 房子　・池本 章代　・畑　道代
・鈴村 三千代　・中村 昭子　・志波 倭文代　・大江 祥子　・小幡 奈美　・後藤田 富子
・森 美智代

私達の田辺市には国際的に有名な植物学者南方熊楠、合気道の植芝盛平、武蔵坊弁慶の偉人がおります。また、みかんと梅の里でもあり、海の幸にも恵まれ、紀州の温暖な地域です。会津町鶴亀会は、現在85名の会員数でコーラス部は32名です。毎月1回の練習でピアノの先生の指導でがんばっております。年に7,8回程度のボランティアで老人施設の慰問をしております。また、全国老人クラブ連合会より仲間づくり部門、ボランティア部門で全国表彰を2回受賞しております。会員みんな元気で明るく仲よくすることをモットーに練習後、みんなでお茶をしていろいろ談笑しながら楽しくやっております。今回ねんりんフェスタへの出演団体として選んでいただき、感謝しております。私たちの念願がかなったことにお礼申し上げます。















### 出演を終えて

私達の一生の思い出になる大勢のみなさんの大きな拍手を頂き、ありがとうございます。ねんりんピック万歳万歳万歳。ねんりんピックのおかげでコーラス部の絆が太くなってきました。市老連事務局の職員さん、ねんりんピック関連にたずさわってくれた職員さん、何回も準備会議に行ってくれて有難うございました。特に御礼と感謝申し上げます。



# 上富田町老人クラブ連合会女性部
〈 上富田町 〉

11月9日(土)

ステージ 6

## 上富田音頭

・古川 あや　・小門 眞智子　・湯川 貞代　・前田 光子　・中松 清子　・中戸川 恵子
・辻野 多津子　・井出 貞代　・木村 栄子　・田上 征子　・沖田 公子　・瀬田 ヱミ
・井戸本 早美　・田上 島枝　・大江 史子　・松本 早苗　・宮野 勝代

上富田町では、昭和53年に町政施行20周年を迎えることを記念して、当時の人口1万1千町民みんなが楽しく輪になって踊れる「町の歌と踊り」が欲しいという声があり、昭和52年7月に上富田音頭製作委員会が発足されました。委員会では、町及び各団体の行事、盆踊り、レクレーションの場において、老若男女を問わず町民が一つになって歌い踊れるような、明るく郷土色豊かな「上富田音頭」を作ることで、より健康で明るい町づくりができると考え、広く歌詞を募集しました。そして、作詞:木村龍平氏、作曲:芝本吉庸氏により、町民念願の「上富田音頭」が完成しました。以来各地の盆踊りや町の行事等で盛んに踊られてきましたが、現在、当時の賑わいは失われつつあります。そこで、女性部では、当時の賑わいを復活させたく、練習に励んできました。今回の地域文化伝承館での披露をきっかけに、再び町内で盛んに踊られることを願っています。















### 出演を終えて

最初は音楽に合わなかった上富田音頭も、踊りの先生の御指導のおかげで、すばらしいリズム感でピッタリ合うようになり、2019年4月からは月2回朝来コミュニティセンターで練習を重ね、本番の舞台では、すばらしい踊りを披露することができました。

# 広瀬連合広寿会
〈 和歌山市 〉

**11月10日(日)**

**ステージ 1**

## 新・吉宗おどり

・瀧口 幹二　・田村 道子　・小北 太津子　・能網 陽子　・鳥本 喜久美　・前田 拡子
・船井 成子　・寺井 孝子　・可児 きよみ　・大田 愛子　・山本 勇子　・近西 つる子

暴れん坊将軍吉宗(よしむね)を生んだ紀州徳川家の居城として有名な和歌山城の御膝元「広瀬地区」から参加させてもらいました、「広瀬連合広寿会」です。今回は、ねんりんピック和歌山地域文化伝承館の舞台で踊りを披露させてもらえることになり、ビックリするのと同時に、皆さんに喜んでもらえるような踊りにしなければと、老体に鞭打って頑張りました。所詮は素人の年寄り集団の民踊ですから、期待に応えられるものになるか疑問ですが…また、今回の「新・吉宗おどり」の振り付けは、本来の踊りを若干アレンジさせてもらい、私たち高齢者でも踊れるようにしています。上手に踊ることも大事ですが、私たちが今日この舞台で踊れることに感謝の気持ちを込めて…そんな思いで「新・吉宗おどり」を踊らせてもらいます。みてください。






### 出演を終えて

地元、和歌山県での「ねんりんピック紀の国和歌山」地域文化伝承館は、私たちにとって、最初で最後のイベントであり、県の地域文化伝統芸能継承の一翼を担当させてもらう中での出演で、まだまだ未完成でしたが、精一杯の演出が出来たと思っています。今回が出演初めての方も数人いましたが、年齢が80歳超えの会員さんも練習での休みは一度も無く、本当に「一生懸命」60歳代の人たちに負けないように頑張ってくれました。本番でも、特に大きなミスも無く本当に感謝の気持ちでいっぱいです。踊り終わって、みんなから「良かったよ!」の言葉を沢山いただき、本当に、ひとときの満足感がみんなの顔に充満していました。

「ねんりんピック紀の国和歌山」出演で地区活動の「ONE TEAM」感が少し上昇したのではと思っています。みんなで一つの目的を目指して頑張れたことが大きな財産になったと喜んでいます。



# 紀伊地区老連弘西太極拳サークル
〈 和歌山市 〉

**11月10日(日)**

**ステージ 2**

## 新疆 天山歓歌

・蔭西 征子　・稲井 静代　・大平 陽子　・尾形 充子　・土谷 佳代子　・松下 奈美子
・松山 恵子　・結城 幸子　・吉田 妙子

私たちは結成20年で、太極拳、芸術拳など、日本では珍しい中国の民族舞踊を中国の先生に教えてもらっています。脳の活性化に大変役立つと思い、難しい動作に挑戦しています。毎週木曜日に練習をし、施設訪問、地区文化祭老人会の行事等に参加しています。いつまでも生き生きと活力ある生活が出来る事を目指し、また楽しみながら学ぶ事が大事だと思っており、健康増進、精神向上、仲間との親睦を深める事も大切にしています。今日発表の天山歓歌は、中国新疆ウイグル区の農村の踊りです。ウイグル地区は和歌山と似ていて果物作りが盛んだそうです。豊作を祝い収穫を喜んで女性たちは美しく着飾って踊っている様子を表しています。歌いましょう、踊りましょう、楽しく踊り幸せの花びらを散らしましょう。遠い異国の雰囲気を少し味わって見てくださると嬉しく思います。







### 出演を終えて

練習種目が他にもあり、天山歓歌のみ集中的にするわけにはいかず大変でした。動き、姿勢視線の方向をそろえ、笑顔で踊る事を目標に練習していると日を追うごとに仕上がり、その結果本番ではまとまって良く出来たと思い、達成感と喜びを感じました。当日は、観客の方達が多かったので緊張しました。紀伊地区の老人会の方達も大勢応援に来てくださり「すばらしかったよ、御苦労様でした」ねぎらいの言葉をかけて頂きました。私達もねんりんピックという大きな行事に参加させて頂き、心に残る思い出ができ本当に良い経験でした。

ねんりんピックに出演したことを自信につなげ、いつまでも生き生きと元気で過ごせるためにも体を動かして老人会の行事ボランティアで施設訪問にも力を入れて行こうと思っています。

# 打田すこやかクラブ
## 〈 紀の川市 〉

**11月10日(日)**

**ステージ 3**

### 紀の川音頭

・宇田 英子　・木村 トシ子　・高橋 映子　・林 かほる　・寺田 孝子　・長谷 貴代美
・松本 章子　・増井 京子　・矢倉 孝子　・湯川 かよ　・米本 京子　・伊森 茂美

紀の川市は平成17年に5町が合併して誕生しました。和歌山県北部に位置し、北は大阪府、西は和歌山市に隣接し、紀の川の清流のもと、豊かな自然に恵まれ、春夏秋冬、四季折々のフルーツに彩られるフルーツのまち。春のいちごから始まって、桃山の桃、いちじく、ブルーベリー、キウイ、柿と続きみかん、はっさくと旬の果物がいつも出来るのを待っています。この実り多き紀の川市に住んで、私たちは、自分の手で足で動ける日を一日でも長く保つために、若者を支え、いきいきと力を合わせて夢あふれる紀の川市をつくろうと、迫りくる老いを迎えうつ気構えで、玉すだれ、銭太鼓の練習で、まず手と足と脳の活性化。軽やかに動けるようにと笑って楽しくがモットーです。芸の道は厳しいですが、デイサービスやお祭り等のイベントのオファーで皆さんとふれあい笑い合って年を気にせず、元気が一番と自負して続けていけたらと思っています。






### 出演を終えて

本番まで練習の期間が少なかったものの、調子のよい紀の川音頭にのれば何とかなるという気持ちで取り組みました。何しろ、月2回の練習で指導者がいない自分達であれやこれやと作り上げていくサークルなので、なかなかきれいに揃うというところまでいかず、あとで写真を見ると揃っていないところが残念なほど多くありましたが、何しろ体を動かすこと、出かけていくことが脳の活性化になると思っているメンバーなので、本場前にもラジオ体操、筋トレをやって練習してから本番に臨みました。出演後も色々なデイサービスの事業所や老人ホームからのオファーがあり、皆さんとふれあえることを楽しみにしています。

地域文化伝承館が盛会裏に終わり、岐阜県へと引き継がれ延々と続いていくその歴史のひとこまに触れさせていただいたことに感謝しています。



# コア・ブレーメン
## 〈 印南町 〉

**11月10日(日)**

**ステージ 4**

### いのちの理由、ねんねねむの木、わが町の木々たちよ

・梅本 和代　・龍田 精子　・田中 喜代子　・中畑 三恵　・古田 朗子　・和田 令子
・坂口 明子　・﨑本 恭子　・杉村 芳江　・滝口 和枝　・宮本 浩子　・山根 智栄美
・石橋 由紀　・金子 明美　・久保井 千代　・久保田 喜久子　・周家 恵美子　・鳴神 ゆり子
・橋本 明音　・湯川 久仁子　・脇野 かほり　・早田　咲　・早田　和　・田中 佳世
・山西 啓子

1991年(平成3年)4月結成。毎週木曜日、午後7時半から9時半まで、印南町公民館で練習しています。2年に1度の定期演奏会の他、町内外でのコンサートに出演。和歌山県合唱連盟主催の大会へ参加するなど積極的に活動している女声合唱団です。今回は、さだまさしさんが、法然上人の教えを基に作られた「いのちの理由」、今では知っている方も少なくなったであろう「印南に伝わる子守唄・ねんねねむの木」。そして、印南町内に点在してる樹齢数百年の木々たちが、今日までの町民の営みを見守り、また発展していく町をこれからも見守っていってほしいと願いをこめ、町内に住まわれている方が詞を書かれた「わが町の木々たちよ」を演奏します。緑豊かな歴史のある町で、今、私たちは仲良く元気に合唱を楽しんでいます。






### 出演を終えて

町長をはじめ町職員、老人クラブの皆さんが大勢応援にかけつけてくださり、感謝の中で演奏は楽しく練習どおりできたと思います。お褒めの言葉もたくさんいただきましたこと、うれしく思いました。マイクを使った演奏は経験がなかったので、歌い出すまで不安が残りました。ステージ裏はバタバタしており、スタッフによって指示が違うことがありましたので、戸惑う場面もありましたが、丁寧に対応してくださったスタッフの皆さんには、ずいぶんご苦労だっただろうと感謝しております。他町のステージも楽しく拝見させていただき、改めて町に根付く活動の大切さ、良さを再確認した次第です。

今後も印南町の文化発展の一端となれますよう、また仲間づくりを大切にして活動を続けていく所存です。

# 三輪崎老人クラブ女性部
〈 新宮市 〉

**11月10日(日)**

**ステージ 5**

## 鯨踊り、新宮踊り

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ・石原 千里 | ・上地 美智子 | ・大井 逸子 | ・岸本 ヒロミ | ・蛭子 里美 | ・江川　守 |
| ・松尾 由美子 | ・河原 良子 | ・大谷 裕子 | ・川畑 恵美 | ・大峯 多津子 | ・寺崎 久子 |
| ・仲 富美子 | ・山口 ゆかり | ・前　京子 | ・久保 満知子 | | |

新宮市三輪崎は、万葉集に「神之崎 荒磯も見えず浪立ちぬ いづこへゆかん よき道はなしに」と歌われ、その名は古くから知られています。熊野灘に面する南国の漁港で沖合には市花「浜木綿(はまゆう)」の群生する孔島、鈴島が浮かび風光明媚の地として昔から人々に親しまれており、昭和54年春には、新宮港が開港され多目的港として栄えています。ここに伝わる鯨踊りは、一名捕鯨踊とも言い捕鯨の形を踊りにしたものです。50年前まで毎年三輪崎八幡神社の例祭に女性の鯨踊りがあり、男性は海岸で鯨踊りを踊っていましたが、次第に会員の人数が減り、中止となりました。当老人会では、女性の鯨踊りを復活させたい思いで踊子を募集し、練習に励み祭典行事に参加することが出来ました。女性の鯨踊りに対して大変好評をいただきました。














### 出演を終えて

本番では舞台が少しばかり狭く感じましたが、舞台の両側から一人ずつ踊りながら出て行き、きれいに出揃って輪になり衣装も良く映えていたと思います。素晴らしい新宮総おどりを楽しんで、全員一致で成功したと自負しています。本当に良い体験をさせて頂きました。又、この様な機会があれば進んで参加したいと思っております。そして、県と市・町が一丸となって進められるような楽しいイベントを作り上げればいいと思います。

この経験を活かし、女性部活動の交流会や市老連芸能大会、また市内の各地域で行っているサロンやイベント等に参加できれば良いなと思っております。



# 御坊市フォークダンス愛好会
〈 御坊市 〉

**11月10日(日)**

**ステージ 6**

## 北上夜曲、浜辺の歌、タンゴポキート

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ・古田 弘美 | ・赤阪 修一 | ・中谷 清子 | ・木村　茂 | ・松下 廣子 | ・鈴木 十四子 |
| ・脇野 かほり | ・柿木 鈴子 | ・青木 幸子 | ・赤阪 加也子 | ・楠本 あゆ子 | ・宮所 和代 |
| ・橋本 芳子 | ・楠見 文子 | ・神谷 茂登子 | ・原　律子 | ・小西 昌弘 | ・森澤 廣子 |
| ・石川 和子 | ・湯川 勢智子 | ・井谷 ルミ | | | |

「蘇れ青春」と銘打ってフォークダンス講習会が御坊市老人クラブで健康づくりのメイン活動として開催したのは、今から15年前。古田弘美先生を指導者として始まりました。以前には100名を超える高齢者の方が参加してくれたことが走馬灯のように浮かんでは消えていきます。当時は年に1回のフェスティバルとしての開催でしたが、これだけのファンがいるのにいかにも勿体ないということで、それが月に1回になり、今では月3回練習に励んでいます。リズムに合わせて踊ることは本当に楽しいですよ。原始時代からの私達の先祖は何事につけても火を囲み、酒を汲みかわし太鼓の音に合わせて踊り明かしたそのDNAが息づいてくるのです。だから、会の雰囲気は明るく楽しく笑い転げています。本当に楽しいクラブです。その仲間が一堂に会して一生懸命踊りますので、よろしく御鑑賞ください。











### 出演を終えて

出演者の知り合い、家族、わたしの親族、愛好会の会友の応援を受け、一生懸命、曲に合わせ踊りました。緊張と高揚感で危なっかしいところが何回もあり、ダメだなあと思いながらもなんとか最後まで踊り続けました。まあ私達の実力では成功だったと思います。健康と楽しさを求めてフォークダンスを踊っている私達。踊りを学びながら思います。実践する、そうすれば楽しさがわかる。フォークダンス愛好会の活動を知っていただけたこと、発表の機会に出会えたこのねんりんピックに一堂感謝しかありません。

これからも今の実力を落とさないように、練習日には、まず参加、いつでもどこでも頼まれれば、さっと踊りに行けるようにしておきたい。交流の一つの方法になって老人会の輪を拡げていければと思います。

# 串本町老人クラブ連合会女性部
## 〈 串本町 〉

**11月10日(日)**

**ステージ 7**

## 正調串本節

・平松 節子　・井城 富恵　・植田 綾子　・上田 秀子　・太田 千里　・大橋 郁代
・岡野 久子　・川口 眞由美　・篠原 百代　・田中 幸子　・出口 早苗　・西岡 洋子
・林　恭子　・廣畑 登志　・前芝 雅代　・前田 康子　・前地 眞喜子　・松下 昭子
・目黒 昭子　・横田 椙子　・横畑 治美　・吉村 泰子　・渡邉 登嬉子　・山中 千佳
・岡村 浩子　・沖 真由美　・平松 侯二　・藪　雅弘

海山川の大自然に恵まれた本州最南端の町、串本町。私たち「串本町老人クラブ連合会女性部」は、平成24年に設立されて以来、仲間達と歌や踊りを一生懸命練習し、町内のイベントや介護施設で披露する等いきいきと活動しています。「ここは串本 向かいは大島 仲をとりもつ巡航船」皆さん自然と口ずさむことができるのではないでしょうか?「正調串本節」は、全国で名の知れた和歌山を代表する民謡の一つです。諸説ありますが、江戸時代に浮世風呂の中で「わたしゃ銚子の　荒浜育ち　色の黒いは　ごめんなれ」と唄っているのを聞いた当時の名士達が「わたしゃ串本　両浜育ち　色の黒いは　ごめんなれ」と唄い替え、串本周辺の名所を七･七･七･五の詩にしたのが由来とされており、今では百以上の詩となっています。江戸から令和の時代に唄い継がれ、串本の名を全国に広めた「正調串本節」をどうぞご覧ください。










### 出演を終えて

練習を頑張ってきたメンバー全員で出演することができました。出演が終わり着替えに行く途中で、出展で参加した方から「串本節大勢で揃っていてよかったわ」と言葉をかけてくれてとても嬉しかったです。皆さまのおかげで大成功だったと思います。ちょっとは串本節の宣伝もできたと信じています。

出演に向けて練習してきた途中で、谷口部長が亡くなり大変残念でしたが、部長の分まで頑張ってきたので、次の世代にも引き継いでもらいたいです。



# ハレハレヒミコフラ
## 〈 新宮市 〉

**11月10日(日)**

**ステージ 8**

## 憧れのハワイ航路、ハナレイムーン、明日へと

・松本 則子　・東　涼子　・置地 怪子　・松崎 和代　・下地 保子　・尾鼻 律子
・岩口 郁子　・宮本 佳子

新宮市老人クラブ連合会のはつらつ教室活動のフラダンス教室のメンバーです。地域社会の福祉の貢献を第一にアロハの五つの心、会員相互の思いやり、助け合い、何時も明るく、常に謙虚で、忍耐強く続け、健康寿命を伸ばすべく仲良く活動しております。月一度の介護ホーム、老人ホームの慰問活動を柱に老人会の芸能大会への出演等、皆さんに喜んでいただいております。今回のステージ出演は、ハワイアンフラ三曲です。①「憧れのハワイ航路」皆さんおなじみの岡晴夫のヒット曲です。②「ハナレイムーン」雲が流れ、月の光が湾を照らし、夢見るように美しい愛の曲です。③「明日(あした)へと」和歌山国体で坂本冬美さんが唄ったテーマ曲です。どうかよろしくお願いいたします。














### 出演を終えて

練習は定期的に毎週月曜日に行っているので、特に気を付けることはありませんでしたが、出演者が高齢なため、体調不良者が出ない様に健康管理に一番気を使いました。無事に本番を務めることができてほっとしています。会場がとても広かったので、迷子のメンバーが出ない様にと一番気をつかいました。今後、メンバーが健康で地域福祉活動に貢献できるように全員で頑張りたいと思います。また今回、素晴らしい出演機会をいただき大変感謝致しております。ありがとうございました。

# さくらハーモニー
## 〈 白浜町 〉

**11月10日(日)**

**ステージ 9**

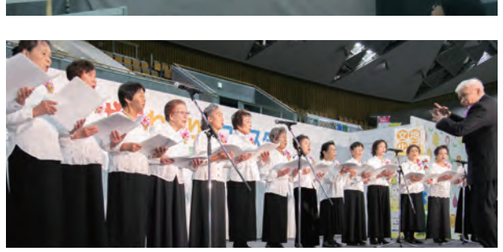
### 毬と殿さま、花かげ、富士山

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ・川口 紀子 | ・三橋 正誠 | ・田渕 福美 | ・尾崎 宇紗美 | ・天野 抄子 | ・高橋 昌子 |
| ・尾崎 あや子 | ・湯川 明子 | ・山口 昌子 | ・熊代 昌子 | ・井上 喜久子 | ・堅田 美代子 |
| ・新田 寿子 | ・三橋 明子 | ・赤沢 妙美 | ・玉置 和子 | ・稗田 孝子 | |

白浜町は、南紀白浜温泉・パンダの町・白良浜・円月島と夏は海水浴客で若者がいっぱいという観光地です。年々、外国からの観光客も増え、最近は町中にいてもどこか他の所にいるような感じもします。私達さくらハーモニーは5年程前から健康と若さを保つことを目的に声を出し、『仲良く楽しく朗らかに』を目標に月一回練習しております。会員数は少ないけれど、歌とおしゃべりを楽しんでいます。年に一度2月に行われます白浜町老人クラブ連合会白浜支部主催の「歌と踊りのふれあいの場」にも出場しています。シルバーの私達も健康増進に張り切って、心はいつも若く、社会参加し、そして教養趣味に活動しています。











### 出演を終えて

出演が決まってから「とても自分たちの合唱では自信がないので辞退したい」との意見もありましたが、ぜひこのチャンスを楽しみ、又思い出を作りたいと下手ながら一生懸命練習し、大きな舞台にて歌うことができ、嬉しく感謝しています。知り合いの方が舞台を見に来てくれており、「とても良かった」と言ってくれていました。平均年齢80歳近い女性ばかり参加させていただき、健康と若さを大いにアピールできました。

地域文化伝承館出演という何十年に一度の機会に恵まれ、またとない経験をさせていただき、良い思い出となりました。



# 御幸辻幸寿会
## 〈 橋本市 〉

**11月11日(月)**

**ステージ 1**

### 獅子と踊ろう お祭りマンボ

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ・辻田　弘 | ・堀切 和代 | ・阪口 秀子 | ・北森 延子 | ・西　明美 | ・田宮 清文 |
| ・堀切 貞子 | ・辻田 温美 | ・辻田 絹子 | ・門雀 征子 | ・山本 美奈子 | ・京極 チエ子 |
| ・福井 良子 | ・小原 嘉代子 | ・坂口 節子 | ・出山 正美 | ・山林 頼子 | ・渡邊 美代子 |
| ・岡　妙子 | ・中谷 美智代 | ・北村 幸子 | ・植木 安親 | ・山本 雅英 | ・細尾 光子 |
| ・稲田 美智子 | ・木村 貞夫 | | | | |

私たちは大阪府と奈良県に近い橋本市から来ました御幸辻幸寿会と言います。月2回健康体操と踊りの練習をしています。地域の福祉施設の慰問にも行き、大変喜ばれています。今回地元和歌山のねんりんピックに参加出来てとても光栄です。はじめのステージは顔見せショーで、きよしのソーラン節の曲に合わせ、赤のハッピに藤の傘で踊ります。踊り終わると後方で前方を盛り上げます。2番目は、お囃子で、今日の為に着物を新調した二人がピッタリ息を合わせて、楽しく踊ります。最後は、お祭りマンボの曲で、左右から二匹の獅子が飛び出して獅子が三匹となりお祭り騒ぎとなります。それに合わせ、皆が傘を回し全員で獅子を盛り上げ元気いっぱい楽しく踊ります。会場の皆様方も曲に合わせて手拍子を、どうぞよろしくお願いします。獅子からいっぱいパワーをもらってください。












### 出演を終えて

出演が決まってから皆んな集まり、今迄で一番良かった踊りの傘の使用、獅子三匹、天狗の舞を使うことなどを決め、衣装、小道具、選曲など何度も話し合って決めました。月二回の健康体操を三十分に縮め練習に力を入れました。毎回踊りの練習をビデオで撮って壁に映して皆んなで訂正したり教えあったりしました。会場に着くとすぐ舞台の確認、立つ位置など念入りにチェックしプログラム一番なので係員の指示を待ちました。今日の為、一生懸命練習をしてきたのだから自信を持って楽しくやろうと話し合っていました。皆んなスムーズにスタンバイして合図を送ると、曲が鳴りそれからは各自の役割を力の限り踊り、観客席からの拍手の中、舞台から降りました。割れんばかりの拍手で練習した成果があったと実感しました。年々若い会員さんも増えました。皆さんに助けられて御幸辻幸寿会が地域の人々のお役に立てるよう、今後も頑張っていきたいと思っています。

# かつらぎ町老人クラブ連合会女性部
〈 かつらぎ町 〉

**11月11日(月)**

**ステージ 2**

## かつらぎ音頭

・木下 喜世幸　・阪東 加代子　・松本 百代　・妙中 ツヤ子　・西村 紀代美　・坂本 孝代
・橿山 濱子　・森本 きゆ子　・甫木元 涼子　・多良 千春　・北口 優子　・木下 照代
・木下 二三代　・宮本 久恵　・藤岡 眞木　・勝岡 美代子　・岩本 晃子　・岡田 万喜子

私たちが住んでいるかつらぎ町は、昭和33年7月1日に6町村が合併し全国でも珍しい、ひらがなの町として発足しました。四季折々の花や緑が美しく、その中を冷水豊かな紀の川が流れています。また、世界遺産丹生都比売神社や世界平和を願う東洋一のお地蔵さん、紀ノ国名水百選の三国山文蔵の滝なども有る風光明媚な町でフルーツも沢山実ります。かつらぎ音頭は、昭和46年に開催された第26回黒潮国体を機に、作詞を福田克彦、作曲を市川昭介、歌は都はるみと錚々たるメンバーによって作り上げられ、歌詞には人と人の繋がりや、特産品などが随所に盛り込まれています。国体が終わってからも町内の各地域でのイベントや運動会、かつらぎ祭などで老いも若きも一堂になって踊っています。






### 出演を終えて

私たち出演の本番は最終日午前中となり、当日受付を済ませ、更衣室で浴衣に着替えると、最終の練習を2階のロビーで行いました。出演時間が近づき、ステージ裏で待機している際も和気あいあいとリラックスした様子で順番が来るのを待つことができ、不思議と緊張感はみられませんでした。ステージへ上がると同時に、司会者がかつらぎ音頭の説明も始まり、用意した説明文を一字一句もれなく読み上げて頂き、感謝しています。最後の練習の際、音楽が鳴りやんだら、その場で手を挙げること、そして舞台より客席に向かって、ありがとうございましたと言って頭を下げて舞台を降りることと決め、それが実行できました。

出演して頂いた、かつらぎ町老連女性部の方々は、一生懸命踊ってくださり本当にありがとうございましたと、感謝の気持ちでいっぱいです。



# 若 穂 会
〈 有田川町 〉

**11月11日(月)**

**ステージ 3**

## 有田三吉踊り唄

・栗本　勉　・上山 一夫　・栗本 絹代　・瀧谷 元蔵　・三木 美知子　・東端 敬子
・山崎 一恵　・上山 さやか

三吉踊りとは、明治の初め頃から有田地方にあった風物詩で、正月の三が日には必ず(三吉)が各家々に廻って来た。(三吉)とは個人名ではなく、馬頭(うまがしら)を振って踊りながら家々を門付をして廻った若衆三、四人組の一行の事で、お礼にもらった餅や小銭などを困っている人々に贈ったりしていた。という言い伝えがあります。この曲は、和歌山県民謡連合会発売のCD第二集に収録されています。現在の仲間で三吉おどりを始めたのは、平成元年頃からです。そこで、近隣の民謡クラブの方々にもご協力いただき、自分たちで譜面を完成させ現在にいたっています。皆、民謡が好きで、声がかかると何処にでも出かけ披露させて頂いています。後の継承者を探しつつ日々楽しんでいます。







### 出演を終えて

本番までの練習で出演予定者の体の調子が悪かったりして、町内の人だけでは無理になり、隣接する市、町の方も加わっていただき、夜に練習を積み成功させました。常に舞台に立っているのに本番ではやっぱり緊張し、唄を間違えてしまいましたが、「とても楽しめました」とか「良かったよ」と言って頂けて嬉しかったです。

地域文化伝承館で演じさせてもらい、一人でも多くの方々に有田三吉踊りを知ってもらったことが嬉しく、これからの励みになると思います。

# ピンクポロズ
## 〈 有田川町 〉

**11月11日(月)**

**ステージ 4**

## シニアエクササイズ

・木村 尚子　・木村 訓三　・湊　秀代　・山本 千里　・赤井 長子　・芝村 雅夫
・水口 美與子　・竹中 千恵　・森　正子　・米田 保子　・中山 悦子　・赤井 和子

シニアエクササイズ有田川は、和歌山大学本山貢教授の指導の元、介護状態にならないように、15年前に和歌山県で初めてスタートしました。初めは1ヶ所でしたが、現在は枝分かれし、48グループ206名が各自で自主活動しています。週1回、公民館などで活動し、童謡のリズムに合わせて、歌って楽しくステップ運動や筋力トレーニングを2時間程行っています。途中、会話が弾む休憩もあり、トレーニング終了後には、お茶菓子を出して楽しい時間を過ごす所もあります。また、百歳いきいき体操も取り入れるグループもあり、各グループで工夫してトレーニングしています。年1回観光バスに乗って県内の名所にウォーキングに行き、大勢が参加します。有田川町で体操している方は、ピンクのお揃いポロシャツを着て（なるほど…これがチームの名前の由来なんですね?）何歳になっても日常生活を維持できる事を目指しています。これからも長く続けていきたいと考えております。














### 出演を終えて

出演が決まってから、毎週朝からみんな集まって1時間半の練習をすることになりました。出演者は忘れず練習に参加してくれていました。不安な気持ちもあり、1人練習も家でみっちり行いました。体操を始めて、こんな舞台に立つのが初めてなので「笑顔で」と言われていたのに緊張でひきつってしまいました。今考えてもワクワクドキドキします。この感覚を忘れず、できる間は続けていきたいです。



# 高野口民謡サークル
## 〈 橋本市 〉

**11月11日(月)**

**ステージ 5**

## 紀州幟上げ音頭、新串本節、大師音頭

・山本 裕子　・岡 千恵子　・甲斐 梅子　・東風 詢子　・酒井 義昭　・酒井 キヨ子
・玉井 勝代　・仲谷 幸子　・西岡 ゑみ子　・西野 勝子　・番匠 節子　・東谷 佳子
・池田 英子　・蓮沼 長男　・窪田 道子　・小澤 竹風　・池ノ内 美壽代　・遠藤 和美
・黒野 カヨ子　・阪本 嘉子　・瀬戸 幸子　・土生川 育代　・宮崎 佐代子

私たちは、日本の伝統文化である民謡のもつ郷愁に心を惹かれ、15年前から地元の公民館で和歌山県をはじめ、全国各地の民謡を習っています。毎年公民館の文化祭や市老連のすこやか交流会に出演し、練習の励みになっています。練習では上手に歌うより大きな声を出そうをモットーに唄っていますので、ストレス発散とともに肺活量も増えると健康にもつながっていきます。これからも元気で健康な生活を送るために長く活動を続けていきたいと思います。今日唄います曲は、1曲目は、大漁祈願や大漁祝いの唄で「紀州幟り上げ音頭」。2曲目は、有名な串本節をアレンジされ新しく作られた「新串本節」。最後の曲は、私たちの地元高野山の大師音頭です。毎年高野山の青葉まつりで踊られていますが、今では、橋本市内各地の盆踊りでもよく踊られ、広く親しまれています。どうぞ私たちのふるさとの民謡と踊りをお楽しみください。













### 出演を終えて

本番でも皆、落ち着いて、練習の成果が発揮でき、よかったと思います。スタッフの若い方々もとっても親切に対応していただき、そのおかげで皆、落ち着いて舞台に立つことができたと思います。出演時間までゆったり時間があったので、展示の方も回って見学することができ、よい経験ができました。民謡サークルの会員も、新規に入ってくださる方が少なくなってきている現状もありますが、民謡を唄う楽しさをもっと多くの人に感じてもらえるよう、いろんな所で唄う機会を増やしていきたいと、今回の舞台で自信がついたおかげで、前向きに頑張っていきたいと思います。

# 北山村老人クラブ連合会
〈 北山村 〉

**11月11日(月)**

**ステージ 6**

## 北山村音頭

・古根川 やす子　・亀田 みな子　・久保岡 徳美　・小栗須 美代子　・新家 百合子　・谷端 啓子
・寺前 君子　・中家 早苗　・中瀬古 光子

北山村音頭は、北山村村政100周年を記念して作られました。以前は、村内外の北山村のイベントで婦人会の方々を中心に踊りを行ってきましたが、人口減少等により婦人会も解散となってしまい、それ以来、踊ることはほとんど無くなりました。今回、会長や役員の方より、ねんりんピック地域文化伝承館にて披露してはどうかという声があがり、参加者を募集したところ10人の会員が踊り手として手をあげ、北山村老人クラブ連合会のクラブ活動として行うことになりました。昨年11月には、国道169号3期工事起工式において披露しました。全員での練習は月に1回程度ですが、各自自宅にて練習に励んでいます。今後は、北山村の敬老会・村民運動会・村政130周年行事・じゃばらの収穫祭等の行事に積極的に参加していきたいと考えております。ちなみに北山村音頭の歌手は、現北山村山口村長で、北山村職員時代に録音されたものです。








### 出演を終えて

北山村音頭は、今から約30年前に村政100周年を記念して創られたもので伝統文化と言えるのかどうかとの思いがありましたが、参加させて頂きました。踊って頂いた北山村老人クラブ女性会員の皆さんは、熱心に練習をした結果を披露してくれました。素晴らしい出来栄えであったと感じています。今回のねんりんピック「地域文化伝承館」参加を機会として、じゃばら収穫祭や運動会など各種の行事で北山村音頭を披露させて頂いております。今後は、更にこの経験を活かして活動の輪を若い人たちにも広げて新しい北山村の伝統文化として引き継いでいければと思っております。



# 美浜町老人クラブ連合会女性部
〈 美浜町 〉

**11月11日(月)**

**ステージ 7**

## まつりん&ぼっくりん体操

・椎﨑 ひろ子　・中前 陽子　・古田 宮子　・橋本 ユキ子　・前田 悦子　・松本 昌子
・細田 春美　・小出 佐知子　・安宅 佳代子　・尾崎 加代子　・相須 ななみ　・加藤 小月
・濱田 佳世子　・福田 佐代子　・蕗谷 美和子　・森本 秀子

私達の美浜町に自慢の松林があります。今から四百年余り前のこと、紀州初代藩主、徳川頼宣公が塩害を防ぐ為、松の木を植林、当時は「御留山」(おとめやま)と名付け一本の木も切ることは許されず守り育てました。今では長さ4.5Km、幅500mの見事な大松林になりました。風光明媚な煙樹ヶ浜の海岸線の弧を描く松林の恩恵を受けながら住んでいる私達は、まるで偉大な母に見守られる松笠「まつぼっくりん」のようです。因みに美浜町のイメージキャラクターは、まつぼっくりで「まつりん&ぼっくりん」の愛称で親しまれています。これから行います「まつりん&ぼっくりん体操」は、老人クラブだけでなく若者にも幼稚園児達にも親しまれている体操です。楽しく、無理なく身体をほぐします。









### 出演を終えて

出演する人の大半は、未だ舞台に立ったことの無い人たちで、本番はどうなるのだろうと、一抹の不安もありましたが、16名は「美浜町」の町名を胸にあしらった揃いのユニホームに身を包み、はつらつとした動きで、松ぼっくり(松笠)の妖精が、松林の中で楽しく遊ぶ情景を見事に表現できました。また、町職員がキャラクター「まつりん」の着ぐるみで舞台周りに花を添えてくれました。舞台を見守っていた私は、胸の熱いものを感じました。出演後の反省会では、皆さんの表情が達成感に満ちていました。「これが終わりではなく、この経験を生かし今後も活動の場をワンチームで広めよう。」と口を揃えた。後に開催された町老連スポーツ大会で、早速「まつりん&ぼっくりん体操」を披露し、応援席にまつりん人形を集めて場内を和ませました。

これを契機に女性部での活動の輪を広め、高齢になっても「やれば出来る」の自信を今後に繋げていきたいです。

# 広川町老人クラブ連合会
〈 広川町 〉

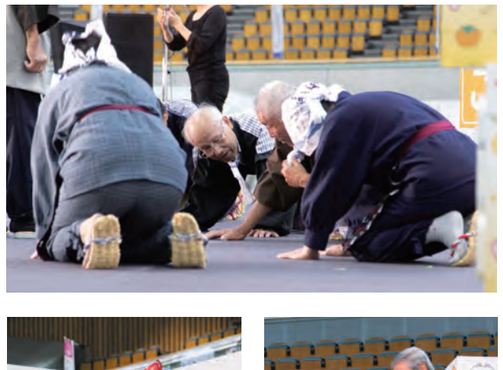
**11月11日(月)**

**ステージ 8**

## 稲むらの火

・西本 とよ子　・畑中 秀敏　・竹中 康夫　・山下 一子　・上川 和良　・嶋田 勝昭
・森　　勲　・森国 しのゑ

私たちは、広川町の偉人である濱口梧陵の物語を全国の皆様に知っていただきたく「稲むらの火」の寸劇をいたします。広川町は、「百世の安堵」津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産として2018年に日本遺産に認定されました。今から披露する寸劇は、広川町が日本遺産に認定された実話に基づいた物語です。1854年、安政南海地震の津波が広川町を襲いました。この時、濱口梧陵は真っ暗闇の中、逃げる方向のわからない町民たちを刈り取ったばかりの自らの「稲むら」に火をつけ、八幡神社の方向へ避難させ、町民の命を救いました。この物語は、地震後の津波への警戒と早期避難の重要性が説かれており、1937年から10年間、国定国語教科書に掲載され、現在においても、一部の国語の教科書で掲載されており、防災教材として高く評価されています。




### 出演を終えて

私たちは、町老連役員5名と会員3名の8名で、広川町の誇りである偉人、濱口梧陵翁の「稲むらの火」を広く伝えたいという思いから寸劇で、参加することができ、貴重な体験となりました。町老連としては、初めての取り組みであり、少々の不安も伴いましたが、事務局の大きな支援をいただきながら、短期間で仕上げた寸劇です。手作りの衣装を着て、週1回の練習も出演者からアイデア等が出たりと「稲むらの火」の重要な場面に苦心しながら、みんなの気持ちが一つになっていく様子が寸劇に現れ、一抹の不安も消え、私たちは、町老連のワンチームとなりました。日頃、交流が少ない町老連のみなさんと一緒にいい思い出をいただきました。みなさん、ご苦労様でした。ありがとうございました。



## 舞台裏コーナー（練習風景・直前控室・会場風景）







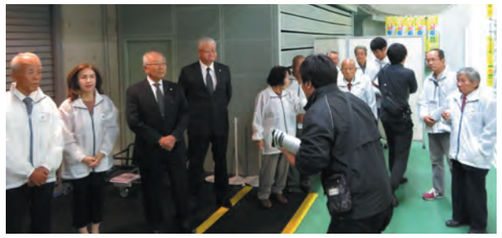






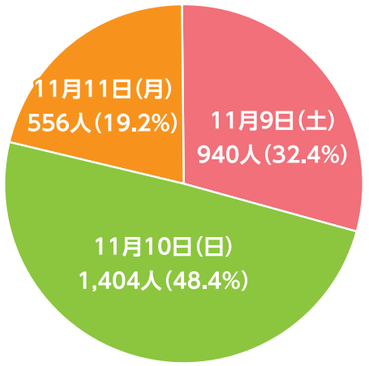






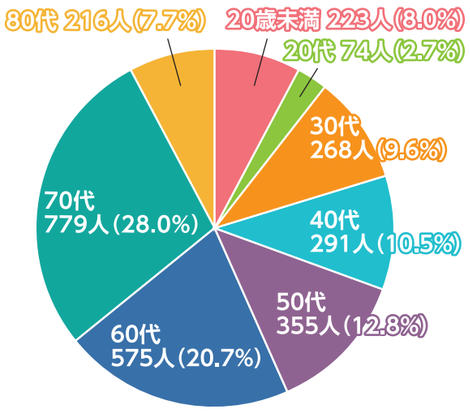
# アンケート

## 来館日

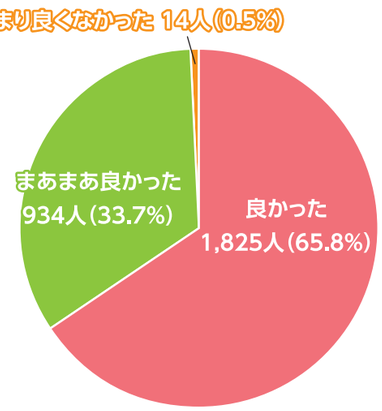



上記のうち63名が複数日に来場したと回答しています。

## 年　齢




## 伝承館全体の印象




- 会場のボランティアスタッフ好印象でした。和歌山県で初めてのことで感激しております。
- ここにきて色々な文化のすばらしさを知りました。大変楽しいです。
- 年配の方がみんな元気で良い 、わくわく感があって良かった。
- 和歌山県の歴史文化の説明案内の企画等日頃接することの少ない中、大変良かったと思います。
- 県下の文化が再認識できてよかったです。体験できるものが多くて楽しかったです。
- スタッフの方の親切な案内に感心しました。地域密着の紹介がいい、いいものを見せていただき良かったです。
- 手作りがすごい。昔ながらのものがあった気がする。良かったです。
- 懐かしく、ほっこりした気分で楽しみました。
- 85 歳まで生きてこの素晴らしい機会にあえて幸せです。とても良いと思います。みんな元気で素晴らしい。

## 性　別




## 老人クラブ入会者区分




## 特に印象に残った企画

### ●来館者の感想

- 初めての地域文化伝承館でしたが感動して見せていただきました。
- 炭琴の音色がきれいでとても良かったです。
- スターチスの花アレンジ、色々な作品があり感動しました。
- 有田川町わらしで体験したことが楽しかったです。
- はたごんぼ茶とかはじめて知りました。真田紐作品は手がこんでいて素晴らしい 大変良かった。
- 祖母がてまりを作っていて習っておけば良かったと思っていたので良かったです。
- 配布されていたストラップが手作りとお聞きし驚きました。
- 伝えていくことは大事だと思いました。地域の特性を活かした取り組みがとても良かったです。
- 知らない和紙の工芸を見て感動しました。大昔から受け継がれている技術、技すべて感動です。

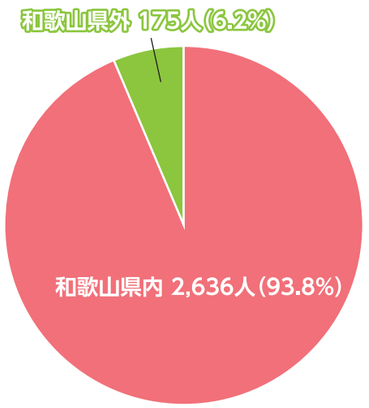
### ●出展

- 紀州てまり(御坊市老人クラブ連合会女性部)
- 紀州手漉き和紙「保田紙」の製品・藁加工品(体験交流工房わらし)
- すすきのほうき・黒竹工芸品・陶芸品(南金屋クラブ)
- 梅染め・梅干しマラカス・墨絵(みなべ町長寿クラブ連合会)
- 真田紐作品(九度山町老人クラブ連合会)
- ひょうたん(岡老人クラブ)

### ●出演

- 木ノ本獅子舞(木ノ本獅子舞保存会)
- コーラス(コア・ブレーメン)
- 岩出甚句(岩出甚句保存会)
- 中国民族舞踊(紀伊地区老連弘西太極拳サークル)
- フォークダンス(御坊市フォークダンス愛好会)
- 玉すだれ(打田すこやかクラブ)

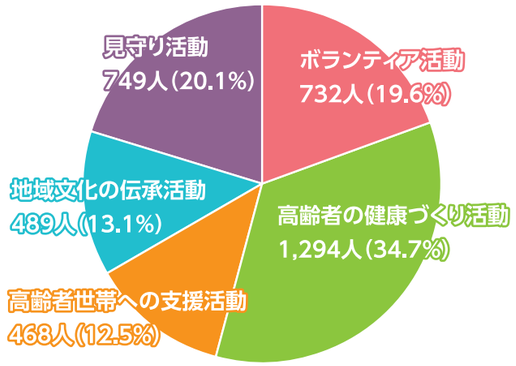
## 居住地




### ●和歌山県外の内訳

| | | | |
|---|---|---|---|
| 宮城県 | 5 | 京都府 | 6 |
| 茨城県 | 3 | 大阪府 | 48 |
| 群馬県 | 1 | 兵庫県 | 1 |
| 神奈川県 | 17 | 奈良県 | 27 |
| 新潟県 | 1 | 鳥取県 | 1 |
| 福井県 | 2 | 岡山県 | 2 |
| 岐阜県 | 29 | 広島県 | 1 |
| 静岡県 | 3 | 福岡県 | 3 |
| 愛知県 | 7 | 長崎県 | 1 |
| 三重県 | 2 | 無回答 | 14 |
| 滋賀県 | 1 | 計 175人 | |

## 老人クラブに期待する活動




※複数回答あり

1　健康づくり活動　1,294人
- 健康長寿日本一わかやまの実践部隊として地域の皆さんを巻き込んでいってもらいたいです。
- 健康寿命の増進に係る各種活動の推進強化を図る。

2　見守り活動　749人
- 登下校時の児童の見守り　・認知症の方の見守り
- 一人住まい高齢者の見守り活動強化

3　ボランティア活動　732人
- 買い物に行けない人に寄り添う活動の実施
- 若い世代との交流 小学校への出前講座

4　地域文化の伝承活動　489人
- わらじづくりや真田紐など地域の継承すべき伝統文化を幼・小・中との交流の中で伝える取り組みを進める。

5　高齢世帯への支援活動　468人
- 身体の不自由な方達へのお手つだい等相互支援の実施が大切と考えています。

## 来館者からの意見・感想

**20代未満**
- 手まりとかはこうやって作るんだとわかりました。記念品をもらえてうれしかった。
- これからも伝承していってほしいです。老人にとって大変良い企画です。
- 小さい子からお年寄りの人まで幅広い年齢の人が訪れていたのでとても良い企画だと思います。

**20代**
- 知らなかった事がよくわかり詳しく知りたいと思いました。和歌山県の良さが県外に伝わってくれると思います。
- 色々な物が見られてよかった。皆さん生き生きして良かった。ごぼう茶おいしかった 。

**30代**
- 未来に地球文化を伝承していく大切な機会と思いました。
- 普段飲んだことの無いお茶や遊び方の紹介などいい体験ができました。これからも続けて欲しい。
- 和歌山に結婚を機に引っ越してきて何も和歌山のことを知らなかった。いろいろ知られて良かったです。
- はたごんぼ茶はほっとする味でとてもおいしかったです。
- 皆さんお元気ですてきで楽しんでいます。ぬいぐるみがかわいかった。

**40代**
- 皆様お元気に活動されていてすばらしいです。今後も続けていってほしいです。
- このような展示により各地の文化を知ることができるので継続して欲しい。積極的にやった方が良いと思う。
- お年寄りが元気でいきいきとした表情が印象的でした。
- ごぼう茶おいしかった。この文化を大切にしていってほしいと思います。応援します。
- 高齢者の皆さんの日頃の活動がわかりやすく、回ってみていて楽しかった。

**50代**
- 文化を伝えることが新しいものを生むことにつながると思う。皆さんパワーがすごく感じられます。
- これから私自身の活動の参考にしたいと思います。
- 地域の文化について知らないものも多く、自分の趣味として見つける機会にもなるので、良いイベントだと思いました。
- 和歌山に色々あることが分かった。知らないこともまだまだたくさんあったと分かった。
- いろんな活動があることを知った。すごかった 色々な活動を今後も広げてください。
- 文化の良いところがわかって良かった。これからも継続してほしい。

**60代**
- 皆様元気で頑張っていて良かったです。木ノ本の獅子舞が良かった。
- 和歌山に住んでいながら知らないことがいっぱいあるのでこんな機会があって良かった。
- 真田紐のストラップ良かったです!
- 永く続いてほしいし、子供たちに教えてほしい。
- 地域文化等の伝承に良い企画だと思います。踊りの衣装、踊り、唄、皆さんよくそろって良かったです。
- 各世代の方々に伝承していってほしい、すばらしい知恵と元気をいつまでも続いてください。
- 皆さん素晴らしいです。各地域伝承されていることを知ることができました。

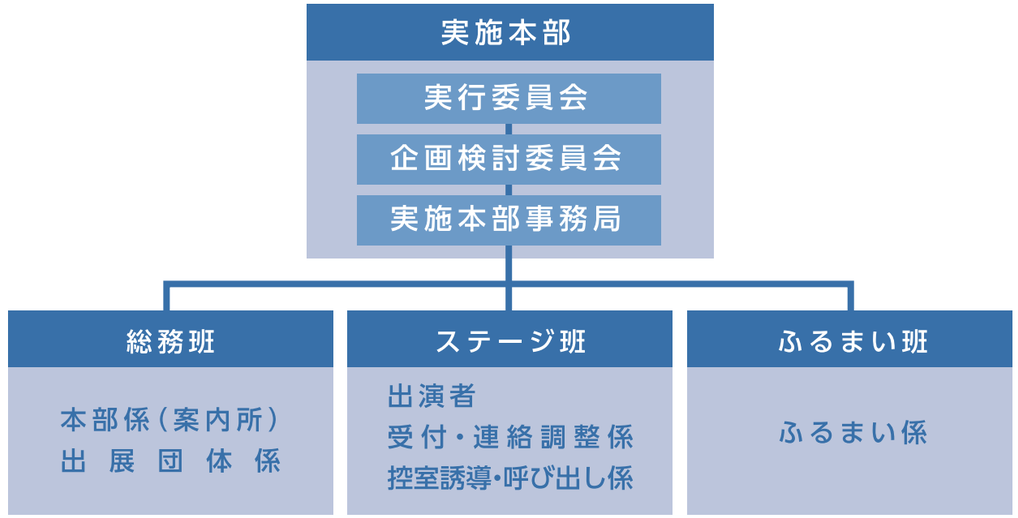
**70代**
- 文化伝承を習いたい。とても楽しくてすごく良かったです。毎年やってほしいと思います。
- これからもずっとずっと誰かが引き継いで日本の素晴らしい文化を残していきたいですね。
- 岡のひょうたんかわいらしい、ほしいです。スタッフ皆さん親切で見学が簡単でした。
- 各地めずらしい作品、物品が見られてとても楽しく元気が出ました。
- 皆さんのご苦労がわかりました。皆さん色々なことに挑戦していることに驚きました。
- 色々と良かったです。大変珍しいものを見せていただいて元気になりました。
- 県下全域に広めて欲しい。とても良い企画ばかりでした。各地域の特産や活動がよく判り元気をいただきました。
- 年配の方が元気に動いているのがとても良かったです。

**80代**
- 手作り感があるイベントで好感が持てました。地域にはすばらしい伝承文化があるのか理解できた。
- 皆様の熱心にアピールしている姿に感心しました。いろいろな土地の催しものを楽しくて見せていただきました。
- フレンドリーで良かったです。今後も期待します。
- いいですね!ぜひ続けてください。 みなさん生きがいをもって楽しく過ごしてられるようで感心しました。



# 運営組織

## 組織図




## 実施本部　■ 地域文化伝承館実行委員会

| 役職 | 氏名 | 所属 | 備考（前任者） |
|---|---|---|---|
| 委員長 | 赤阪 修一 | 和歌山県老人クラブ連合会会長 | |
| 副委員長 | 中尾 純和 | 和歌山市老人クラブ連合会会長（県老連副会長） | |
| 委員 | 谷口 善郎 | 和歌山県 長寿社会課長 | |
| | 山野井道信 | 和歌山県 ねんりんピック推進課 式典・事業室長 | |
| | 中西 淳 | 和歌山県社会福祉協議会常務理事 | 栗山 隆博 |
| | 下津 喜久男 | 海南市老人クラブ連合会会長（県老連理事） | |
| | 堀川 憲一 | 橋本市老人クラブ連合会会長（県老連理事） | 澤村嘉津美 |
| | 中坂 政廣 | 紀の川市老人クラブ連合会会長（県老連理事） | |
| | 井爪 義之 | 岩出市老人クラブ連合会会長（県老連評議員） | |
| | 佐原 靖彦 | 有田市老人クラブ連合会会長（県老連副会長） | |
| | 初山 茂 | 田辺市老人クラブ連合会連絡協議会会長（県老連評議員） | 嶝口 富和 |
| | 上廣 正幸 | 新宮市老人クラブ連合会会長（県老連評議員） | |
| | 井村 順弘 | 紀美野町老人クラブ連合会会長（県老連評議員） | |
| | 吉村 正樹 | 伊都郡老人クラブ連合会会長（県老連評議員） | |
| | 畑中 秀敏 | 有田郡老人クラブ連合会副会長（広川町老連） | |
| | 梅田 一二三 | 日高郡老人クラブ連合会会長（県老連評議員） | 濱口宗五郎 |
| | 前田 鐵城 | 西牟婁郡老人クラブ連合会会長（県老連理事） | |
| | 玉置 之一 | 東牟婁郡老人クラブ連合会会長（県老連副会長） | |
| | 岡 広子 | 和歌山県老人クラブ連合会副会長・女性部会長 | |

## ■ 地域文化伝承館企画検討委員会

| 役　職 | 氏　名 | 所　属 | 備考（前任者） |
|---|---|---|---|
| 委　員　長 | 田中　健司 | 和歌山県老人クラブ連合会常務理事・事務局長 | 藤井　敦弘 |
| 副委員長 | 井上　正子 | 和歌山県老人クラブ連合会理事・女性部会副部会長 | |
| 委　員 | 山下　隼人 | 和歌山県ねんりんピック推進課 式典・事業室 | |
| | 寒川　ツタヱ | 和歌山県老人クラブ連合会女性部会副部会長 | |
| | 瀧口　幹二 | 和歌山市老人クラブ連合会副会長 | |
| | 松下　純子 | 紀の川市老人クラブ連合会事務局 | 辻佳秀・仲河建志 |
| | 前　廣 | 有田川町老人クラブ連合会副会長 | |
| | 村上　勝郎 | 田辺市老人クラブ連合会連絡協議会事務局 | 吉本真由美 |

## ■ 地域文化伝承館実施本部事務局

| 役　職 | 氏　名 | 所　属 |
|---|---|---|
| 常務理事・事務局長 | 田中　健司 | 和歌山県老人クラブ連合会事務局 |
| 局　員 | 山本　陽一 | 和歌山県老人クラブ連合会事務局 |
| | 岩橋　利恵 | 和歌山県老人クラブ連合会事務局 |
| | 藤本　一 | 和歌山県老人クラブ連合会事務局 |

## 運営スタッフ

## ■ 総務班（本部係）

| 役　職 | 氏　名 | 所　属 |
|---|---|---|
| 全体管理責任者 | 田中　健司 | 和歌山県老人クラブ連合会事務局 |
| チ　ー　フ | 岩橋　利恵 | 和歌山県老人クラブ連合会事務局 |
| チ　ー　フ | 谷　知洋 | 日高郡老人クラブ連合会事務局 |
| サブチーフ | 佐々本知代 | 和歌山市老人クラブ連合会 |
| スタッフ | 山下　やよゑ | 和歌山市老人クラブ連合会 |
| | 中西　賀世子 | 和歌山市老人クラブ連合会 |
| | 前山　公雄 | 海南市老人クラブ連合会 |
| | 杖村　美代子 | 海南市老人クラブ連合会 |
| | 山部　信子 | 海南市老人クラブ連合会 |
| | 田伏　亘子 | 海南市老人クラブ連合会 |
| | 谷口　信子 | 海南市老人クラブ連合会 |
| | 井辺　勤 | 海南市老人クラブ連合会 |
| | 堀川　憲一 | 橋本市老人クラブ連合会 |
| | 松尾　猪和夫 | 橋本市老人クラブ連合会 |
| | 仲谷　一雄 | 橋本市老人クラブ連合会 |
| | 稲垣　勝 | 御坊市老人クラブ連合会 |
| | 橋本　頼子 | 和歌山県長寿社会課 |

## ■ 総務班（出展団体係）

| 役　職 | 氏　名 | 所　属 |
|---|---|---|
| チ　ー　フ | 堀　宏匡 | 有田郡老人クラブ連合会事務局 |
| チ　ー　フ | 清水　大輝 | 伊都郡老人クラブ連合会事務局 |
| スタッフ | 古本　英靖 | 伊都郡老人クラブ連合会事務局 |
| | 西端　光子 | 和歌山市老人クラブ連合会 |
| | 嶋田　孝子 | 和歌山市老人クラブ連合会 |
| | 廣田久美子 | 和歌山市老人クラブ連合会 |
| | 濱田　妙子 | 和歌山市老人クラブ連合会 |
| | 木本美智子 | 和歌山市老人クラブ連合会 |
| | 片山佳代子 | 岩出市老人クラブ連合会 |
| | 西川　文子 | 岩出市老人クラブ連合会 |
| | 山本美津子 | 岩出市老人クラブ連合会 |

## ■ ステージ班（出演者受付・連絡調整係）

| 役　職 | 氏　名 | 所　属 |
|---|---|---|
| チ　ー　フ | 藤本　一 | 和歌山県老人クラブ連合会事務局 |
| スタッフ | 尾崎　真美 | 西牟婁郡老人クラブ連合会事務局 |
| | 酒井美智子 | 和歌山市老人クラブ連合会 |
| | 西川　美鈴 | 和歌山市老人クラブ連合会 |
| | 堀代千代子 | 和歌山市老人クラブ連合会 |
| | 藤川　信幸 | 紀の川市老人クラブ連合会 |
| | 中坂　政廣 | 紀の川市老人クラブ連合会 |
| | 福田　香織 | 有田市老人クラブ連合会事務局 |
| | 垣下有紀子 | 有田市老人クラブ連合会事務局 |

## ■ ステージ班（出演者控室誘導・呼び出し係）

| 役　職 | 氏　名 | 所　属 |
|---|---|---|
| チ　ー　フ | 山本　陽一 | 和歌山県老人クラブ連合会事務局 |
| スタッフ | 八木　亮丞 | 東牟婁郡老人クラブ連合会事務局 |
| | 森　伸一 | 紀の川市老人クラブ連合会 |
| | 中谷　友隆 | 紀の川市老人クラブ連合会 |
| | 森本　廣 | 紀の川市老人クラブ連合会 |
| | 井爪　義之 | 岩出市老人クラブ連合会 |
| | 甚田　正義 | 岩出市老人クラブ連合会 |
| | 桃井美佐子 | 有田市老人クラブ連合会事務局 |

## ■ ふるまい班（ふるまい係）

| 役　職 | 氏　名 | 所　属 |
|---|---|---|
| チ　ー　フ | 岡　広子 | 海南市老人クラブ連合会 |
| サブチーフ | 寒川　ツタヱ | 日高川町老人クラブ連合会 |
| スタッフ | 石井　幸代 | 橋本市老人クラブ連合会 |
| | 保田美佐子 | 紀の川市老人クラブ連合会 |
| | 片山佳代子 | 岩出市老人クラブ連合会 |
| | 井上　正子 | 有田市老人クラブ連合会 |
| | 市原　茂代 | 田辺市老人クラブ連合会 |
| | 森　芳美 | 広川町老人クラブ連合会 |
| | 新谷壽美賀 | 古座川町老人クラブ連合会 |

## 運営スタッフ

### 11月9日(土)




### 11月10日(日)




### 11月11日(月)






# 地域文化伝承館

わが街、かがやく街、やさしい街、
また来たくなる街、わかやま

発　行　日 ／ 令和2年3月

発行・編集 ／ 公益財団法人全国老人クラブ連合会
〒100-8917　東京都千代田区霞が関 三丁目3番2号 新霞が関ビル内
[TEL] 03-3581-5658　[FAX] 03-3597-9447

一般財団法人和歌山県老人クラブ連合会
〒640-8319　和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛内
[TEL] 073-435-5216　[FAX] 073-435-5217